京城日報
二日夕刊

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

大正六年五月三日（木曜日）

米陸軍擴張案内容

米國の陸軍擴張法案の内容は徵兵制度に依り昨年決定の正規兵及び國民兵を充實し別に臨時五十萬の兵を募り猶必要に應じ大統領は更に五十萬の兵を增す事を得るものとし都合二百萬に近き程度迄擴張する事となれり（紐育電報）

人に依りて法を曲げず　露國政府の新宣言

政府は官等職務の如何を問はず政府官吏は總て民法並に刑法上の義務を負ふべきものなりとの宣言書を發表したり（露都電報）

露陸相軍隊へ布達

陸相グゥチコフ氏は軍令を發し各軍各聯隊各中隊は何れも各自獨立の委員を選擧し之をして風規の維持、食糧の供給、長官連の暴威防遏將校兵卒間の葛藤解決並に憲法議會選擧の準備等の事務を擔當せしむべしと布達せり（露都電報）

獨外相の平和宣言

獨逸外相チンメルマン氏は帝國議會の委員會に腹藏なき說明を與へたる後戰爭は近く終結すべきを保障し又一般社會に向つても遠からず平和の來るべきを半公式に宣言したり（紐育電報）

獨逸國體改造警告

アムステルダム來電＝獨逸前殖民大臣デルンブルク氏はブレスロウにて注目すべき演說を試みたり卽ち政府に對する獨逸國民一般の國體改造運動は其の根柢深くして到底抑壓し得べきものにあらざるを以て政府は速かに之が實行に著手すべしと警告し又幸相ベートマンホウルウエッヒ氏は獨逸の戰爭に對する目的を發表せざる可らずと言へり（倫敦電報）

教育大會提案

全國聯合教育大會に於て小學校正敎員全部を被保險人とするの提案あり（東京特電）

無所屬團統一

無所屬團は幹事制度を以て事務の統一を圖らんとの說あり（東京電報）

工場衛生講習

農商務省にては十七日より二週間工場衛生及び技術に關する講習を開催す（東京特電）

上旬對鮮貿易

四月上旬の大阪對朝鮮貿易は移出百四十萬二千六百二十五圓移入五十二萬二千百二十六圓にして差引八十八萬四百九十九圓の移出超過を示せり（大阪特電）

秋山參事官等著釜

總督府參事官秋山雅之介、鐵道局參事志賀信光、新高製糖株式會社取締役淺田知定の三氏は二日朝入港の高麗丸にて釜山著同十時三十分發列車にて京城に向ふ（釜山特電）

哈爾賓の講和論

哈爾賓の露國軍人代表會議は二三日前民意の講和に就き討論したるが結局露國が舊政府を推倒したるは專制政治家の野心的侵略政策を掃蕩せんが爲めなり故に歐戰に對しては極力民意講和に贊成す所謂民意講和とは兩方國民より講和を提起し何等の條件及び賠償なくして停戰する者なりと云ふに一致せり露紙は之れに對し歐戰停止或は近きに在らんと觀測し居れり（哈爾賓）

光演法主巡錫

大谷派管長光演師は一日午前五時二十分安奉線にて奉天著中央大街新築本堂にて親敎の後總領事張督軍訪問、宮殿北陵の巡覽を終へて同日午後三時四十分遼陽師團に向へり信徒其他の送迎頗る盛んなりき（奉天）

總督一行歸京

北鮮地方巡察中なりし長谷川總督は釜屋武官、齋藤副官、神田秘書官等を隨へ古海鐵務總長帶同二日朝元山出發途中釋王寺に寢し午後六時二十五分南大門驛著特別列車にて歸京す

宇佐美長官

北鮮地方視察中總督一行と分れて間島巡視の途に就ける宇佐美內務部長官は三十日會寧を視一日龍井村著、滯在二日の上三日局子街に赴き四日龍井村、五日會寧、六日清津に著き七日乘船の豫定なれば歸任は九日頃となる可し

新內大臣松方侯爵

正二位大勳位侯爵松方正義氏に對し二日午前十一時宮中表御座所に於て親任式を行はせらる（東京電報）

鐵道債券賣出　鮮銀各店に於て

鮮銀內日本銀行京城代理店にては二日より五日迄今回大藏省令を以て募集せし鐵道債券四千萬圓の申込みを受け附くる由なるが其の條件は利率年五分利子仕拂期日は每年三月十五日及び九月十五日にて償還年限は大正二十一年三月十五日迄とすべく價格は額面金額百圓に付最低金九十五圓以上と定めあり募入方法は應募價格の高きものより順次募入すべし尙ほ初期の利子は九月十五日額面百圓に付一圓六十四錢の割合を以て仕拂ふ因に鮮銀各支店出張所共均しく其の取扱ひをなすべし

郵便規則改正

郵便規則中改正の件は五月三日附府令を以て發布十一日より施行の事となれり本令は第一條外四條の追加改正にして其の要旨は從來同一郵便局所區內に發送する小包郵便物は量目に拘らず其の料金八錢の規定なりしが今回は同一郵便區內に發送する小包郵便物にして配達を爲す可き郵便官署より五里以內の地に達するものは量目に拘らず八錢とすることとなり其の他二三を改正せり

新嘗祭獻穀者

本年の新嘗祭獻穀者中米は釜山府凡一洞佐谷龍太郎氏に決定せしは既報の通りなるが粟は引き續き詮考の上江原道春川郡府內面後坪里三統五戶正八位崔養浩氏に確定せり同氏は明治四十一年韓國政府時代より明治四十五年まで郡守の職に在り資性溫厚篤實鄕閭の名望家なる由種穀は近く校範場より送附す可く米の播種は五月五日粟耕作田は其の前後に何れも地鎭祭を執行の筈なり

秋山大將巡閱

秋山軍司令官は松井參謀千輪副官を隨へ二日午前八時四十二分龍山驛發にて南鮮各地巡閱の途に就き大邱に向ひたるが其の順序は大邱より直ちに釜山に赴きそれより馬山鎭海晉州浦項等にして來る十二日歸邸の豫定なり因に浦項に立寄るは迎日灣視察の爲めなりと

古海總長歸任

長谷川總督と同行北鮮巡視中なりし古海鐵務總長は二日朝元山發午後六時廿五分南大門驛著列車にて歸任す

秋山博士歸任

三十日東京驛發汽車にて歸任の途に就ける參事官秋山法學博士は二日午後九時南大門驛著汽車にて歸任す

筑紫少將退京

滯京中なりし陸軍兵器局長筑紫少將は二日午前九時二十分龍山驛發列車にて退京せり同夜は平壤に下車三日に亙りて兵器支廠豫定地をはじめ寺洞鑛南浦等を視察の上北行の豫定なり

ラッセル氏出發

紐育日本協會々頭ラッセル氏及同會理事ピップ氏の一行は去る三十日夜入京朝鮮ホテルに滯在中の處二日午前八時三十分南大門驛發の鮮滿急行列車にて滿洲に向ひたり

島監事訪問

入京中の東拓監事島德藏氏は二日午前中總督府を訪問山縣政務總監外各長官局長等を歷訪したり

鮮銀支那人囑託歸任

朝鮮銀行奉天長春各支店にある囑託支那人五名は視察のため入京中なりしが二日の朝北行歸任せり

有田氏の乘補

朝鮮輕便鐵道理事有田寬次郎氏は今回朝鮮輕便鐵道株式會社監査役補缺として之を兼任することゝなりたりと

學校組合議員改選と候補者

京城學校組合議員改選期は來る六月九日と決定せるを以て之れが候補者中には既に早くも下運動に著手せるもありと云ふ而して候補者數は約三十名に達すべき模樣にして現在議員十六名中再起せざる者數名ある模樣なるも大部分は再起勿論にして此の他前回に落選せる中村再造高橋章之助古城梅溪氏等を始めとし新に出馬の噂專らなるは工藤武城増田三穗、大垣丈夫、小川勝平、天日常次郎の諸氏あり市內有權者總數は約八千名に達す可し尙ほ現在議員中二名の缺員ありて其他の氏名は左の如し

遠山熙、石川眞三、大村百藏、小川龜太郎、大和與次郎、中村時章、鈴木幸次郎、田中半四郎、安住時太郎、吉田英三郎、馬詰次男、山口太兵衛、岡正炎、池田長兵衛、曾我勉、牧山耕藏（以上十六名）

東拓株主總會

東洋拓殖會社にては大正五年度決算並に利益金分配案其他を附議する爲め定時株主總會を來る五月二十二日東京商業會議所に開會すべく近く其の招集通告を株主に發する由

東拓重役會議

東洋拓殖會社にては二日午前十時より樓上に於て臨時重役會議を開き石塚總裁松平川上高瀨三理事清水秘書役參集大正五年度會社の決算に關する諸種の協議を遂げたるが例により鈴木監理官も亦臨席したり

東拓決算監查

入京中の島東拓監事は一日午前より午後に亙り五年度東拓決算の總體的監査を行なひたるが二日は午後各部別の監査を執行し多分三日決算の槪要を松平總務部長より公表するの運となるべし

藤山氏招待

漢城銀行專務韓相龍氏は滯京中の日糖社長藤山雷太氏一行六名を二日夕刻嘉會洞の自邸に招待し晩餐會を催す

獻穀齋田地鎭祭

本年の新嘗祭に獻穀すべき齋田の光榮に浴したる釜山鎭佐谷龍太郎氏の齋田地鎭祭は來る五日午前十時より佐々木道長官、若松府尹、府立學校上級生徒職員、地方有志者其他參列修祓式を行ひ夫れより祭典を擧行すべしと因に祭典準備其他の爲め石井道勸業技師は三十日來釜したり（釜山）

淸津

▲咸北道の戶口　最近調査に係る咸北道戶口は內地人四千百八十九戶人口男六千六百二十三女五千十五計一萬一千六百三十八人朝鮮人八萬八百七十九戶人口男二十五萬九千二十六女二十四萬九千二百八十計五十萬八千三百六人支那人三百五十七戶人口男一千百九十六女二十六計一千二百二十二人歐米人八戶人口男十六女七計二十三人合計八萬五千四百三十二戶人口男二十六萬六千八百五十二女二十五萬四千三百三十七計五十二萬一千百八十九人なり▲淸津東海岸防波堤工事　本年度繼續起工に決定せる淸津港東海岸北防波堤工事は今回土木局より倭築技師出張視察の結果既成の設計にては外海より來る波濤に對し充分對抗し能はざるやの懸念あり更に保線工事を施すの必要ありとの意見なりしより更に設計變更の必要あり爲めに五月上旬より著手の同工事は一時延期の止むなきに至れり▲水道工事著手　淸津上水道工事は工事主任二日市技師津川囑託事務員等既に著任夫れ〻起工の準備中なるが實施設計の認可等も既に其筋へ提出せるを以て認可あり次第五月上旬より工事に著手の豫定なり▲露國鯖不振　淸津港に於ける本年露國鯖は頗る不振にて例年昨今最盛期なるに拘らず今日まで歸港鯖買漁船は僅に九十隻內外に過ぎずして當港出帆漁船の半數にも達せざる狀況なるが之れ全く浦鹽以南沿岸漁場の本年不漁に原因するもの〻如く歸港漁船も例年の如く滿載するはなく何れも七八分方の積載にて一隻平均四五萬尾に過ぎず相場は生鯖一駄十圓乃至十一圓を唱ふ

面制決定

二日の閣議に於て朝鮮の面制に關する勅令案附議されたり從來面は一の行政區畫に過ぎざりしが今回內地に於ける町村の如く法人なる資格を認め財產の所有起債の能力作用を附與する事に決せり（東京特電）

大田

▲松虫の大驅除獎勵　忠南各郡に於ける松林には四五年前より俗に松虫と稱する枯蛅虫の發生夥しく往々にして一山全滅の有樣なるより道廳に於ては郡當局及び當業者を督勵して其の大驅除を行はしめ來りたるも年々增大の有樣にて當業者は到底人力の如何ともする處にあらずとなし稍々倦怠の色あるを以て道廳に於ては更に驅除豫防に關する通牒を發せり▲養蠶打合會　來る七日午後一時より大田郡廳に於て稚蠶共同飼育に關する打合會を開催する筈なるが忠淸南道廳より一名の技術員出張臨席の筈也と▲大田の家屋稅　五月末日迄に納附すべき大田の家屋稅の調定額は金七百五十七圓なり▲橋本署長送別會　大田警察署長より釜山警察署長へ榮轉したる警視橋本房一氏の送別會は三十日午後七時より富士屋に於て開催せり▲湖南吟社例會　湖南俳句會例會を來る五日午後七時より本町關口不倒庵に於て開會兼題青葉、時鳥、短夜の卷及び卽吟等ある筈

大邱

▲大邱組合會議　大邱學校組合は五月一日大邱府廳內に於て戶別割賦課議案決定の爲め評議會を催せり▲陸軍會計檢查　朝鮮陸軍各部隊會計檢查の爲め三十日午後一時十八分著列車にて來邱したる會計檢查院第二部第一課長平塚定次郎氏一行は五月一日步兵第八十聯隊及び憲兵隊を翌二日は步兵第四十旅團の會計檢查を行ひ同日午後一時二十三分發列車にて大田に向へり▲巡查補採用試驗　大邱警察署に於ては二十八日より三十日に亙り巡查補採用試驗を行ひたるが受驗人員七十名なりしと▲金物組合園遊會　大邱金物商組合は五月一日東村附近に於て春季園遊會を催せり

安東縣雜信

▲臨濟管長臨安　臨濟宗永源寺派管長森永師は滿鮮巡錫の途次三十日朝五龍背著同地溫泉場に一泊の上一日朝來安直ちに新義州に赴きて說敎し夕刻歸安し滿鐵俱樂部にて說敎し二日午後七時より有志の催しに係る安東公會堂の講演會に臨み三日午前七時二十分發列車にて南行の筈▲驛長更迭　安東驛長山路德松氏は營口驛長に轉任を命ぜられ後任として公主嶺驛長たりし大塚旅氏來任▲送別會　研究の爲京都大學へ派遣を命ぜられたる安東滿鐵醫院長鶴見濟太郎、營口に轉任せる山路德松兩氏の爲め四日午後六時三十分より安東公會堂に於て官民有志相寄り送別會を開く由

人事消息

▲神林啓太郎氏（咸興炭坑社長）二日朝退京
▲小倉武之助氏（大邱電氣社長）同上
▲吉岡爲夫氏（徵兵保險社員）同上
▲安武千代吉氏（釜山辯護士）▲龜田梧樓氏（同）同上
▲本田平壤府尹　二日發一週間の豫定にて府行政事務視察並に平元鐵道問題打合せの爲め元山に出張
▲橋本孝平氏（新昌[illegible]）四日釜山發赴任の筈
▲大原庄太郎氏（朝鮮水產組合會長）三十日東京より歸任
▲新川忠治氏　平壤慈惠醫院小兒科主任　一日平壤著任
▲米人舊光圖一行三十日夜釜山通過內地へ
▲ベーカー氏夫妻（加奈陀鐵道會社重役）同上

南北滿洲

西海生

白仁民政長官

▲經濟上から旅順を見ると、何等價値のない土地である、旅順の今日は關東都督府と陸海軍の二三官衙の存在により辛くも維持されてゐると云つてよろしい、若し卽今之等の官廳を拔き去つたら旅順は日ならずして空洞に近い寂寞を呈するであらう
▼將來の旅順も之れと云つて起りさうな事業もないらしい、唯此地は滿洲の最南端に位し、氣候も比較的靜和、背後の連山は曠古の戰跡、前面の海水は四時清澄である、どうも別莊地若くば廣闊な滿洲の自然の壓迫を避くるための轉換地として適當ではないかなど〻思ふ
▼小生は戰跡一巡後、辱知の白仁民政長官を官邸に訪うた宏壯な長官邸は露西亞時代大佐の住んでゐた家と云ふ何でも石塚東拓總裁が民政長官時代自身住み込む積りで修理を施したが、總裁は遂に入るに至らずして去つた、現長官は多くの令息令孃と共に賑やかな生活を續てゐられる
▼官邸の應接室も可なり廣い、そして椅子や卓なども皆露西亞時代其儘だと長官は語る、露國式の建物幷に調度、其の窓の一角から旅順新市街を望むと經營半ばにして挫折した盛んな多數の大建築が雄偉な露國の經略時代を物語つてゐる、其等の建物の多くは今日旅順の諸官衙となり、學校に化してゐるが、尙ほ何等利用せられぬ半成の頽廢しかけた建物もないでない、占領地だ！と云ふ樣な感じが此の露國的氣分を見て新らしく起つて來る
▼在滿朝鮮人の敎育と云ふ事は滿洲此頃の問題である、滿鐵の地方部なども切りに研究中のやうだ、右に付長官は曰ふ、在滿支那人の敎育さへ當局で施してゐる位だから、同胞たる鮮人の敎育は決して忽せには出來ぬ、唯其の敎育方法を如何にするかと云ふに、予の考へでは日鮮人を別々の學校に收容し、隔てのある敎育をするのは不可ぬと思ふ
▼鮮人の同化と云ふ事は將來非常に難かしい問題である、之れには我國人は眞味になつて盡力せねばならぬ、殊に治者は非常の注意を以て彼等に臨むの要がある、それには隔てをつけて鮮人をひがますのは大禁物だ、成程鮮童中日語に通せぬ者迄日本人と同一の敎育を直ちに施すのは困難だらう、然し例へば初めの一年か二年かを別に國語の修練を積ませ言葉がよく通じるやうになつたら、日本人と同樣の學校に容れ渾然融和した敎育を授けたいと思ふ
▼大正四年の日支新條約により、日本が獲得した滿洲に於ける邦人の農工商經營に必要な土地商租は、在滿同胞より權利の取得に關する要求が非常に多い、又既に商租した者も少なくはない、然し此の土地商租は日支官憲の間に大變面倒な手數と煩累を重ねゝばならぬ支那の官憲も商租の承認を伸々與へぬ、其の善後の處置には予等も閉口してゐる
▲滿鮮鐵道の統一問題が、これは鮮鐵で全部を經營するか、滿鐵でやるかは姑らく措き、其の併合は之れを理想より云ふも實際より見るも極めて必要と思ふ、何を苦しんで分割するか、後藤內相が併合論者らしく中村滿鐵總裁は頗る熱心な併合の提唱者である、寺內首相の意向何れに動くかは予の與り知らざる所だが、最近兩鐵道經營合一の傾向を呈せる事は瞭らかである
▼長官は營口に對する當局の方針や、阿片專賣收入に關する各種の談話を試みた、然し公表するとある方面に差し障る點もありと思はれる話を差控へやう、旅順出發の時の迫れるを知り蒼皇辭し去る

桃花の名所を探ねて
京城附近は今が眞盛り
漢陽公園の裏手＝葛月里＝梨太院

京城附近の桃花は二三日前より滿開となり茲一兩日が見頃なるが何れも

◎今年の寒氣の爲め損傷し例年に比して頗る見劣りせらる附近花の名所は南山漢陽公園裏手及び龍山練兵場東の葛月里、練兵場南の梨泰院等にして遠く望めば彩霞

◎山麓の翠松を罩めて棚引き雪の如き梨の花其の間に點在して目も綾なる眺となれり道は電車にて吉野町に下り三坂通りに入れば左方に直ちに爛漫たる

◎紅花の村を發見し得べし又練兵場にて下車すれば左方の葛月里の花をながめながら小徑を傳ひて三坂通より漢陽公園下の花を眺め更に練兵場南の道路を進み梨泰院の桃花を見る事を得べし梨泰院には梨

◎津麴等の花もありて春や常に酣である此の外に蓬萊町四丁目より麻浦に越す傾斜面も一面の桃花にて今が恰度見頃である此の附近も早朝か又は

◎夕刻に出掛けて恰度いゝ位の處である、猶北門外、東大門外東八軒町、龍山孝昌園入口、麻浦等の桃も恰度眞盛りと成りたるを以て玆一兩日中が桃のお花見の最好にてそれを過ごさば

◎落花の時期に入るべし京城附近は最も桃花に富み居るを以て桃の花見を爲すには朝の散歩夕刻のすゞろ歩きにも充分なるべし

▼京城一の桃園 風景愛すべき北門外 青坡と東小門外

青坡の桃を見るには練兵場より電車を下り舊龍山行道路を取り善隣商業學校附近より

■山手を見れば幾筋もの小徑は桃花の山に續けり東小門外の花を訪ふには御苑前にて電車を下り徒歩にて敦町東に進めば桃及びユスラの花は文廟附近より東小門外に迄

■一面に咲き續く此の邊の風景愛すべきものあり、北門外の桃園は京城郊外第一の桃園ほどありて此岳の北麓より見渡す限り桃色に咲き充ちたり北門外の桃見には景福宮裡手に隨ひて北に進み

■青雲洞より北門を越せば花盛りなる桃の林は目の下に在り此の邊は洗劍亭に續く道路にして腕車の便もあり

新妻の映ゆる褄や桃の花＝二日午後二時葛月里にて＝

內地人里長に推擧さる

京仁沿線梧柳里小峰源作氏は今回同里々長に推擧せられたるが內地人にして里長たるは氏を以て嚆矢となす由因に小峰氏は昨年新嘗祭新穀獻上の榮を擔ひ里內に於て朝鮮人間に德望ありと(仁川)

七人組の兇賊
家人を斬つて强奪

二十六日の午前四時頃全北井邑郡淨土面梧琴里農殷迎注(六三)方の表門を破壞して各手に鐵棒及び兇器を携へたる七人組の强盜侵入し先づ同家馬夫金福萬(三五)の寢室に至りて同人を括り上げ主人殷迎注の寢室に伴ふべく兇器を持つて脅しつけたるも馬夫は應ぜざりしより同人の兩手上膊を鐵棒にて毆打負傷せしめ直ちに主人の室に闖入して迎注をも縛り上げ書箱を破壞して在中の金品を掠奪せんとしたるに隣室より同人の母李姓女(五)が起き來るより出刃庖刀を揮して同人の背部に斬りつけ長さ五寸深さ二寸二分の斬傷を負はせ現金六十二圓六十錢を掠奪して逃走したり所轄井邑憲兵分隊にては目下各方面に手配して犯人嚴探中

白骨事件公判

蔚山長坂七太郞に對する白骨事件公判は三十日大邱覆審法院に於て開廷檢事は峻烈なる論告を爲したる後控訴の理由なしとて棄却を請求し辯護人佐々木淸綱氏は極力無罪を主張して結審判決言渡しは來る七日(大邱)

渡船から投身

龍山分隊麻浦出張所の憲兵補助員成奎榮が二十八日午後一時四十分頃麻浦渡船場より漢江を渡航中突然乘合せたる一名の鮮人は激流に投身して自殺を企てたるより船夫李俊龍(三七)と協力して辛くも件の男を救助したるも人事不省に陷り居るより應急手當を施し蘇生せしめ取調べの結果京城義州通一丁目李泳鎭(四六)と言ひ放蕩の結果四月二十日無斷家出し此の始末に及びたるものと判明し將來を戒飭して歸宅せしめたりと

二人殺し強盜は死刑

平南大同郡斧山面生れ農俞元俊(三五)は去月二日大同郡龍岳面へ赴く途中同面居住の金南秀、金球算の兩名と道連れとなり三人は酒幕にて濁酒を呷り同郡斧山面筆峰山の峠に差蒐り不圖した話の行違ひより俞元俊と金南秀とは

▲口論を始め果ては酒の爲めに油が乘り兩人は遂に格鬪を初めたるより連れの金球算は兩人の仲に割つて入り仲裁せんとしたるが俞元俊は金南秀に應援する者と早合點し烈火の如く怒り珠算が懷中に呑み居たる小刀を捥ぎ取るよと見る間にグザと許り柄も通れと金南秀の頸部を刺し更に胸部腹部と處嫌はず滅多刺しに蜂の巢の如く十七箇所を傷付け卽死するを見濟し今度は强盜と變じて同人の懷中せる四十九圓在中の財布を奪取したり然るに此の

▲慘劇を目擊したる件の珠算は己れも俞元俊の毒刃の及ばんことを慮かりて逃げ出したるより俞元俊は血糊に染みたる小刀を揮して追跡し遂に同所より約十五町南方の山坂路にて珠算に追附き其の背後より斬り掛り珠算が全く縡切るゝを見又もや前同樣同人の懷中より四十一圓を奪ひ其儘自宅に潛伏中逮捕され取調べの末平壤地方法院にて審理中二十日公判開廷死刑の宣告を言渡さる

夜市の賑ひ
鍾路の灯の海

ツイ眼の前に來てゐる夏を招くやうに鍾路の夜市が一日の晩から賑かに開かれた、それと同時に夜のパゴタ公園も

■開放されて一般の入園を歡迎することゝなつた、さらでだに徂く春の惜しき名殘を遊ろ歩きに止めやうとする人の多い此の頃とて華かな夜店の灯を追うて、夕靄かなる公園の精なる床しいライラツクの花の香に憧がれて出て來る人は頗る多かつた、夜店は電車の交叉點附近から通りの南側に

■軒を並べて約三丁に亙り、日用品やら果物食料品などを飾りたてゝ行人の脚を駐てゐるパコダ公園には園內數箇所に點されたアーク燈はまだ散り殘る姥櫻の花に、また今を咲き誇るライラクにその輝やかしい光を投げかけてゐた、八時過ぎ天女の群のやうな

■輕い裝ひを凝らした廣橋新彰洑南三組合の妓生の行列が遊步楚々としてパゴタ公園に練り込んで來た頃から潮の寄せるやうに四方から集まつて來た人はあの廣い鍾路の大通りを通行もならぬ程に埋めて一時は電車が立往生をする程の人出だつた、此の混雜の中にあつて此處の夜市の創始者である趙重應子が

■嬉しさうに奔走してゐたのと妓生が夜市のためとあつて彼等にとつては『春宵一刻値千金』の貴重な時間を割て一同總出で景氣を添へたのは美しいながめであつた、開市の第一夜は斯うした空前の盛況を呈した今年の夜市の幸先のよい事よ、今年も不斷の賑ひに盛る事であらう

鍾路通りの夜市

子豺を捕獲

仁川警察署管內富川郡桂陽面公村里金龍先(三七)外二名は先月二十六日午後零時二十分頃桂陽山中に於て草刈をなし居る際生後二箇月の子ヌクテ三頭を捕獲の上同駐在所に屆出で一日午前本署に送致し來りしが中一頭は高等女學校へ他は何れも希望者に分與したり因に前記三名に對しては賞金として總監部より一頭に付き十圓宛下附さる可しと(仁川)

土工の慘死

山東省生れ當時京城大平町二丁目人夫頭宋輝堂方陳鴻來(三八)は仁川濱町三丁目胡本熊吉(五六)の配下となり石材採取の爲め江華島に出張作業中先月二十八日頃土砂崩壞の爲め腹部以下を埋沒して慘死し屍體は前記陳鴻來方に引渡したり(仁川)

◁視察のあと◁
機械の力 撫順の大炭坑
大露天掘り

◇一行の撫順に著いたのは二十七日の午後一時過ぎ、それより電車に乘つて數時間の間に撫順全部を驅け廻らうといふのである

◇撫順はいふまでもなく石炭の撫順、高い煙突の撫順、大樽の撫順、機械ばかりの撫順である

◇電車の裡では早速例によつて滿鐵社員の講話が始まる曰く『撫順の炭坑はむかし朝鮮人が發見したのである、それは確か高麗時代の窯業に使用したもので現に只今でも千金寨あたりから當時朝鮮人の燒いた陶器が發掘される、撫順の炭は約八億噸今のまゝで二百五十年かゝつても掘り盡くされぬ………』なるほど一噸一圓と見切つても總計ざつと八億圓、これなら損は行かぬ哩と團員の胸算用

◇『あれに見ゆます高い大樽、あれは此の冬爆發した大山坑の慘狀の後であります、當時紅蓮の火焰はあの百尺の大樽より更に二三百尺の天に沖し今でも樽は火にこげついてゐます』

◇渾河々畔の水源地に來た、此處では渾河の河床の自然濾過により今秋からは約廿二萬人の人口に充分なる上水をとる、今でも十一萬人の人口には充分である、ポンプは電動タービン式で一分間三百立方尺を吸ひあげる

◇河の上流には大きな砂採り器械がある、砂は石炭を掘つた坑道に充塡して行きその上更に支柱となつてゐる、石炭を採り出すのと、坑木は主に安奉線や鴨綠江材から來るが一噸につき四十三錢一箇年八十萬圓を要する

◇電車は楊柏堡坑から東の老虎臺坑まで行つた、何れも大きな大煙突に石炭揚き場の大樽、撫順の炭は東になるほどよくなつて端は製鐵用にも充分であるといふ

◇東鄕坑の捲き場及び選炭場を見る地下數千尺の石炭はグル〳〵とトロツクに積まれたまゝ自動的に大きな大樽の上に引揚げられ此處で選炭機の篩にかけられて了ひに下の貨車の中へ落ちる、萬事が總て機械ばかりの働らきである

◇苦力がエレベーターで深い千尺の地下坑內に下るのを見る、チン〳〵の合圖で一分間もたゝぬ間にスーツと下るその輕便さ加減呆れりつくせるものである

◇殊に苦力の持つ安全燈の檢査は最も嚴重、總てランプの開け閉しは破石の鍵がなくては出來ぬことになつてゐる

◇それから坑內に風を送る煽風機、汽罐室、總てが偉大なる機械の力によつて働らく、而してその原動力はモンド瓦斯の發電所から來る、此處では硫酸アンモニヤを採るから電力は零になつた上剩金がくるとのこと

◇古城子坑では大擂鉢形の露天掘りをやつてゐる、最近擂鉢の中へ廣軌の機關車を驅らせて石炭を引きあげるといふこと

◇一行は小學校で撫順炭坑及び官民有志の茶菓の饗應をうけ午後六時二十五分の列車で立つた(金谷生)

車夫の服裝が一定した

平壤警察署に於ては四月三十日管內人力車々體の檢査をなしたるが檢査數一〇七臺內不合格九臺修理を命ぜられたるもの一六臺にして昨年に較べて一般に成績良好なりと尙平壤に於ける人力車輓子の服裝は從來區々にして一定し居らざりしが今回の檢査に依り帽子は獨逸形生徒帽著衣は黑木綿の法被股引と一定したり(平壤)

商況

公債直取引(東京)(時價)

	一日出來値
五分利特別	九七、八〇
五分利甲號	―
一回四分	―
二回四分	―
甲號五分	九七、六〇

債券現物特電(東京)

	一日出來値
東洋拓殖	六九、〇〇
京城電氣	五七、〇〇
朝鮮銀行	一四三、〇〇
朝鮮瓦斯	一一八、〇〇
南滿鐵道	一四八、〇〇

深川在米特電

	一日現在高
朝鮮米	一九五、一四九
臺灣米	六七、二八八
內地米	一、七一八、二七八

東京期米特電

	一日前場 五月限	後場
寄付	七、八五	―
高値	七、八五	―
安値	七、八〇	―
止め	七、八二	―

大阪三品特電

一日前場 綿糸甑シ現物七圓四十五錢 細布十三錢五 綿物十圓五錢 蜜十二 綿物九圓五十五錢四エー九圓四十錢 綿絲十六手二圓安十手變らず 綿布先物七圓三十錢 十月限 二〇、五三

大阪期米特電

二日前場	
高限寄付	一七、一七
中限寄付	一七、四四
先限寄付	一七、九四
め止	

下關期米特電

二日前場	當限	中限	先限
寄付	一六、〇四	一六、〇七	一七、三三
高値	一六、二三	一六、〇七	一七、二六
安値	一六、〇三	一六、〇六	一七、二〇
止め	一六、〇四	一六、〇八	一七、二三

雜報

◎大豆殘存高 鮮內大豆の殘存高を推定するに大約左の如し鐵道輸送申し込みは誇大に失し居れば局發表の滯貨表の如きは實際數と非常の相違あるを免れず昨今共貨車配給に就いて權利を放棄するもの多く或は之れ他に轉貨讓與する如き弊少からざるが今四月二十一日調査には輸送中のもの二千百二十五噸治線滯貨を合して二萬一千九百六十噸となりて其後十二日間に約四千噸を輸送し得たるもの ゝ 如く殘額は蓋しさすれば殘餘一萬八千噸弱 釜山の如きは著しく減少し九州行きは各沿線とも荷捗きさなり且つ上述の尖權者多ければ之等停滯貨の一掃さるゝは豫定よりも早かるべく多分五月中旬には完了する事ならむと思はるされば從來提供たりし大立貿易もこれより共面目を改むべきか今各地今後の移出力を測る先づ西水東著量約四萬噸の中從來積出を其二分と見做し殘り三萬六千石あり安東大豆又既往の如く約二萬石算へ黃海道金谷汗浦奧地に約二萬石共他各鮮各地に散在するものを合して今後搬出さるべきもの總計約十五萬石なるべしと推定さる

◎鑛力板更に高し 鑛力板は過日大阪四五圓高を報ぜしに拘はらず當地は今日尙ほ前値を維持せるが昨今更に二圓內外の高氣配を盛らし益々高値となれるを以つて鼓舞又は此等狀態を維持せば現在の六十八圓より少くも三四圓方の引上げる見込にて至るべしといふ

◎銑鐵行悶へ 印度銑の禁輸と本邦在品の缺乏により一時奔騰を續けし銑鐵も最近に至り聯か入品の見込みたちたりとかにて人氣も漸く行悶へ立ちの振合ひあり本品の今後如何に成行くや測り難きも兎に角市況の軟化の傾き生じ値の前途にも多少の影響あるべく殊に銑商の反響も甚しき鑄物類の如き一層本品の現況に注目を拂ひ居れるもの ゝ 如し

◎精白米引弛む 米正
昨報の如く各地高報を傳へて手堅かりし掛先期米は前日の高値發表に續いて底强く眼先の正米新期の買附困難なるを認められつゝあるも何分前買附米の日々廻着し眼前の在米豐富を眺め居れる丈け各地高にも歸びきを缺き居れり 現物凭れと各地高の板狹みに賣迷ひの姿なる折にも白米の如き卸値は前日より約三十錢落ちの十六圓五十錢處を唱へらるゝに至りたるが鮮白は今朝却つて高値にて十六圓四五十錢處の呼聲ありしといふ

◎土鹽出廻好況 四月
に假置りし鹽は四月開けてより俄に需用增加せるが一方製鹽も追々產額增して天日製鹽頗る好況なる由傳へらるゝとともに土鹽印在米鹽の製造に移りて出廻り增し漢江滿流の舟便を俟ため麻浦に堆積せらるゝもの約百六十萬斤に達せりと報ぜらるゝが舟運の便の加はるゝとともに今後續々內地へ廻送せらるゝ承なるべし値は割合に手堅くして二十三四錢見當即百斤換算一圓二十錢內外にして三四月中の高値に比べて落ちたるもなほ時節柄としては割高なれば今後幾分の變動あらむと測らる

◎麥粉續いて騰し 內地
米國南と輸出好況に內地製粉界は買手あれど賣手なき有樣にて漸く騰步調を辿り居れり之原料の作柄思はしからずとの念益々堅き爲めなり 市中値段更に高く目下鍊ダイヤ三圓十五錢櫛三圓七錢赤ダイヤは同三十錢觸また三圓見當を唱ふるに到りしが幸ひ需用季節に向へる事さて賣れ行きにはまださしたる影響なきも米價に先き奔りたる事とて斯かる三圓以上の高値にては今後の賣行如何ならむと案ずるものあり

◎新茶更に低落
新茶は漸次出廻り增加に向ひ相場も又次第に低落を告げつゝあるが現在の入品は產地相場一貫目六圓至十錢處の物なり市中賣値は一斤一圓五十錢に前報より五十錢方引下げたるが今日にては產地相場三圓五六十錢といへば中賣値の一圓は近々なるべし尙其後の產地狀況は氣候頓に好氣加はりしと共に一時發芽遲延の見込みなりしもの昨今却つて例年より幾先を制せんとする傾きあるもの ゝ 如く且つ

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎 仁川海岸町三丁目

◎輸出向は石茶好況にて新茶荷の船腹不足ちの箱なるも容器材料たる箱及び亞鉛板アンペラ等の騰貴によりて聯か行惱みの模樣なる山城茶は產地既に玉露新茶の大走り出でたれば近かく初荷を見るならん

◎植物油の騰貴 地內
油と海鮮雜貨の高値相加はりて植物油類は皆騰貴しつゝあり就中胡麻油最も割高にて約二割方上げの八圓八十錢となり其他平均一割上りなるべく市中相場荏子油は六圓見當椿子油は內地小高きため白絞七圓四十錢內外の見當尙又大豆油は發行步々しからざるも出廻り薄きため六圓五十錢となり同白絞七圓に騰貴せるが眼前なほ强し

◎白米小賣値下 米精
卸値は別項の如く下押したると共に一部商店にては朝來小賣値引下げの噂ありしも眼先の變動を顧念せらるゝ際同業者中値下げ躊躇の向多かりしが結局本日中現在値を維持し明三日より五厘方の値下げをなす事となれり

京城正米
昨報の如く各地正米高の機先本日の期米新甫更に昂騰し鮮白又々高値を唱へらるゝも正米氣配も就昧の裡に益々手堅き處あり

京城雜穀
▲大豆 昨報の如く品薄にて概ね强保合なりしが浜江出廻り多き見込なれど未だ入津なければ急騰口買附ありて大口の取引ち九圓高を突破して出米値二十錢に遲せしもあり鮮高下甚だしければ敢り合み多く手合によりては九圓五十錢を唱ふるもあり
▲小豆 先月來北海道の報に買氣盛なるも品薄にて現物なければ益々手堅く赤大豆十二圓五十錢と兩三日來更に五十錢高の見當なり
▲大麥 上物四圓八十錢次品四圓三十錢
▲小麥 內地製粉高値につれて氣强く上物九圓次品八圓九十錢の唱なるが大手筋は持荷は弗々の移送初まれり
▲胡麻 手持なければご製油向き需用又二十二圓五十錢と騰りてなほ强合み滿洲產は市中二十七圓の唱へ
▲荏 賣行止まれるも米高につれて値高く石六圓五十錢の見當
▲綠豆 又品薄にて先月來百四五十丁方の騰貴昨今十二圓見當に達す
▲粟 既報の如く滿洲產地より山東地方の輸出行はるゝため浦地相場の高下甚だしく時により場所によりて見當つかねば取引値制商にて昨今市中成行値段石十二圓なるが鮮白頭打ちによりてこゝ賣れ澁る

南大門の廻穀

天安玄米	九四叺	仁川碎米	一四〇叺
烏致院白米	六八叺	仁川白米	二九〇叺
郭山玄米	四一叺	仁川白米	三七〇叺
平壤胡麻	二六叺	水原白米	六一〇叺
水原餅米	二〇叺	一山白米	三四叺
天安白米	七〇五叺	仁川玄米	五五叺
天安小豆	二五叺	仁川白米	九八叺
全義白米	二七二叺	郡山白米	二〇叺
金泉胡麻	二九叺	砂里院綠豆	四〇叺
仁川玄米	三五叺	義政府粟	一〇叺
天安大豆	一七叺	仁川白米	―

仁川現物市場
▲穀入津少なし氣配緩らざる唱へ
▲正米入津少なし氣配保合を唱へ居れり
▲大豆入津なし

生魚市場(京城魚市場)
時化跡ながらの兩市場を合して約十個許りの入荷あり花見時の人氣宜敷値頃なり十貫目建値如左
タイ二五、サワラ一九、モヽ〇四二、ヒラメ一〇、チヌ二〇、カレイ一〇、ヲコゼ一、アナゴ一、イ七〇、ワラヅセ、サユ五

仁川期米

▲二日前場 兵庫前寄十七圓五十錢太阪前寄十七圓九十四錢と昨止より一錢安の入電にて當地寄十三圓十錢引中十三圓〇八圓より十二圓十錢と跳れ〇八錢と押し更に十五錢と上伸し十三錢引先十三圓四十九錢と二錢高に寄付八錢に保合の折柄大阪四節八十六錢と安移りに買物多く四十五錢と押したるが大阪六節九十二錢と高移りに買物多く五十錢と上伸し九節十八圓丁度と更に昂騰を報じたるより買物益多く更に五十二錢と上伸し高値の儘依然强硬の成行を示して散會

▲二日前場(石) 高四千百石 ▲中限⊖十三圓九錢⊖十三圓十錢⊖八錢九錢⊖十錢平均九錢 ▲先限十三圓四十九錢⊖五十錢⊖四十八錢⊖五十一錢⊖五十二錢

市場零聞

▲依然强硬 天候明天昨後場强硬の儘先今朝大阪の變らざる入電なるも十三圓四十九錢と寄付たるも高値の折柄又買物多く八錢と辷りて保合の折柄大阪跡安を移し多く五錢と辷り他は買物多く...
▲大阪昂進に買氣 大阪跡續れ返し移りに⊖⊖⊖⊖ 今聚其他跡尙移りて買物多く更に五十二錢と上伸し大阪の高値の儘散會を告げたり市況は不知今後の變動如何
▲前場の手振 ⊖方の一萬餘石⊖千餘石⊖千餘石等に對し買方⊖⊖⊖⊖各⊖二千餘石⊖⊖⊖等にて他は小口商內であつた
▲㊁の大商內 今前場同店より賣りたる玉數一萬餘石に上りたりとの事にて大に市場の注目を惹いたり
▲(イ)の商內 前場同店より賣りたる玉數七千餘石買たる玉數六千餘石に上りたりとの事
▲(ア)の商內 前場同店より賣りたる玉數四千餘石買たる玉數五千餘石に上りたりとの事
▲(下)の商內 前場同店より賣りたる玉數三千餘石買たる玉數五千餘石に上りたりとの事
▲(釜)の商內 前場同店より賣りたる玉數四千餘石買たる玉數五千餘石に上りたりとの事
▲(邑)の商內 前場同店より賣りたる玉數三千餘石買たる玉數二千餘石に上りたりとの事
▲(全)の商內 前場同店より賣りたる玉數三千餘石買たる玉數二千餘石に上りたりとの事
▲更に上伸す 大阪は前月末强硬の成行と同じ新甫の發會は如何なるが果せる哉十七圓六十九錢の發會値を安値として後騰勢を示しはじめたり

株式會社仁川米豆取引所仲買人 全高田仲買店
●定期米賣買案內 ●賣買確實迅速 ●一般大衆御委託 ●前金御注文は紹介を不要 ●內地市場の事宜 仁川海岸町三丁目 電話長一〇〇 電話長一一九

▲稻作の第一步 三明
日は八十八夜に相當するとの事にて古來此節に稻の播種をするのであると謂はれ本年稻作に關する第一步である果して本年の變因は幾測する處に非ずとするも今や七月限の發會を動機として市場の人氣は大阪の昂騰と相俟つて稍腰入深き者あらんとする者あり然るに時は追々推移し來り內地は前海上當地は大海上に乘り出し來りたる大天災期は則ち拂秧時期の降雨外なからん是報せし如く鮮內地に於ける如何にあつて從來の豐凶は一に仕手の騰否にのみ依るべからず只今後の變動は時が時なる丈天候の如何に依る多く天災は殆んど杞憂に非ず要は今後の天候如何にあり

▲人氣の赴く處又悔ゆべからず 漸く採算時機を脫
五十丁の大下鞘 殊に大阪より四百
今前場十八圓丁度の高値を現出したり然るに十八圓と言ふ値の大なる丈閑て今後の變動赤大なる者あらん當地は又大阪高に剌戟せられ買氣再燃ふべく殊に大阪より四百五十丁の大下鞘に在る係上一般の人氣は又復買惡ふ振り合にて中々侮り難き者あり爲に本日前場更に十三圓五十二錢と上伸したりと雖も然るに一面には高値と待つて大に賣り向はんとする手口あり又戻り賣り物も人氣も中々旺盛にて新市發會以來の見越し買も仲相場の變動に連て低銀相場の波瀾高く...

仁川米豆取引所
二日の七月限

前場	
寄付	十三圓四十九錢
高値	十三圓五十二錢
安値	十三圓四十五錢
止め	十三圓五十錢
出來高	三萬八千六百五十石

平均値段	
一節	十三圓四十九錢
二節	十三圓四十九錢
三節	十三圓四十六錢
四節	十三圓四十七錢
五節	十三圓五十錢

賣買取組高		前日と比較
五月限	一萬四千百五十石	一一〇石
六月限	三萬千七百五十石	二萬高
七月限	五千四百石	九一高

一日後場	午前	午後
五月限	一三、三八	一三、三八
六月限	一三、四七	一三、四七
七月限	一三、三八	一三、三八

天氣 曇少雨後晴 (二日午後六時迄)

日出 五時二十七分 日沒 七時三十四分

仁川 滿潮 午前 午後 干潮 午前 午後

…町生れ…泥棒は八箇月 佐賀縣神崎郡神崎… 懲役八箇月の判決を受けしを…

…二等、卅八名(山口國右衛門、近藤敬太郎、永井勇三郎、西原謙吉、伊藤芝之助、瀧本傑策、傳…次郎、澁野強次郎) 二等五十八名(西山ちよ、後藤松太郎、…) 三等(二百九十七名) 子、宮田…平野ふく、山本れや、寫友ちよ…

(鎭南浦…)募集規定 (用紙は端書に限る)

第三千四百五十八號 （明治四十年九月二十八日第三種郵便物認可） 京城日報 大正六年五月三日 （木曜日）

●此處でも一日の快遊が出來る

名山高峯繞る大湖水！

大江上の奇しき史跡

來る六日の大野遊會場の一部になつて居る漢江｜大漢江の江岸には風景の佳い處が敢て尠とは云はぬ忠州よりの下流にも鄭踊の名勝がある支流照陽江々畔の景色も佳い保津川に似た新延江の江岸も無論能い西氷庫豆毛浦の眺望麻浦の夕陽鶴の瀬の急流なども却々捨て難いが如何にも長江らしい氣分が現はれて居てゆるやかな豁かなやわらかい春の樣な心持ちの眺めを缺いで居る然るに唯一個所長江の氣分から脱して宛然たる

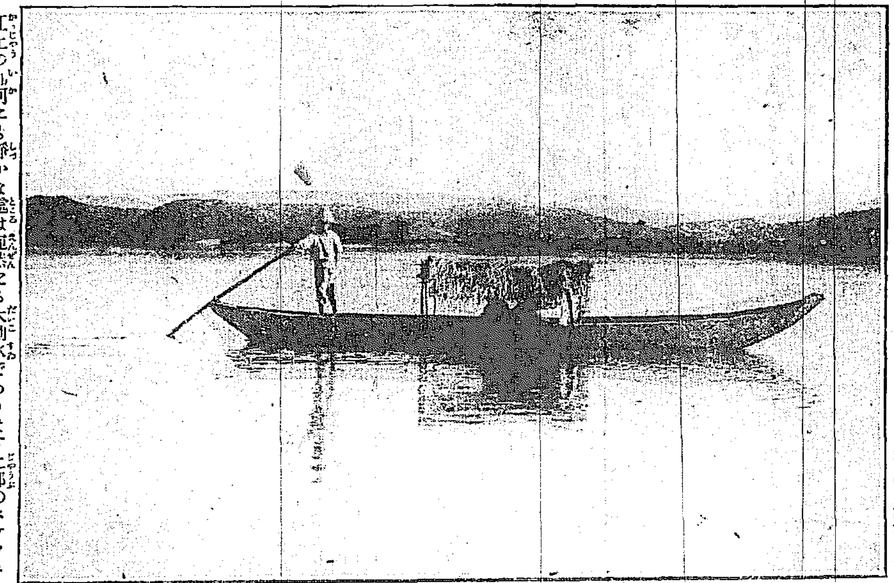
▲大湖水の感 を抱かしむる處がある上流も下流も曲折して小峙や堤防や柳林に隱れて殆んど流れともない廣い〳〵大湖水の形をして居るのは蠶島から奉恩寺へ渡る漢江である實際此處では江の字が頗る不適當の樣に思はる〻江水の下層は無論下流に向つて流れて居やうが水面は鏡を張つた樣で風のまに〳〵水は上下の別ちなく何れの方向へでも流れる江上に舟を泛べての氣持は日光の中禪寺湖其儘である淺い處は澄徹した水底に游泳して居る魚群迄も見らる〻やは風に連れて處々に起る漣險は春の日に映じて金銀箔を散した樣に名も知らぬ

▲水禽は所々 に眠りつ〻浮んで居る風がない日は油を注いだかの如き江面川メバルも釣れる鮒も釣れる其他名も知らぬ魚が釣れる四方遙かに名山高峯が薄絹を被いた樣に春霞の天に己がじ〻其の雄姿を誇り南方は遙に南漢山の西將臺が兩眸の內に入る沿岸は天然自然の風光で十里の長堤新柳ならざるはなく白砂は目も遙に素絹を布た樣で異帆片帆の來往古人が漢江十景中の隨一なりと嘆じたのも最も千萬である而して此處の歷史に就ても亦奇しき譚が殘つて居る

▲盛な水陸祭 毎年閏年の二月には此處で盛な水陸祭と云ふのが行はれる今年も既に二月に行はれた其れが又頗る盛大なもので千餘の大群の朝鮮人は數隻の船に乘じ舳を揃へて此の中流に出ると祭を司る奉恩寺の僧侶が讀經を始める而して澤山な幾桶もの飯を手に手に河中に撒布して魚腹を肥やすのである是等の群衆は大抵京城方面から赴き此の祭禮を行ふのである

▲奇しき史蹟 抑も此の祭禮と云ふのは大に緣起のある事で今を去る三百年前仁祖大王が淸兵に攻められ京城を出で遠く江華島に逃れんとしたが江華島への道は既に敵の爲に遮ぎられて居たので京城の南大門迄引き返して來て愈々南漢山へ逃れる事となつた光熈門から往十里へ行き其れから蠶島に出で奉恩寺を經て南漢山へ赴いた蠶島へまで來たが舟が少いお伴の人は非常に多く吾れ先にと舟を奪ひ合つた其處で致方なく仁祖大王を安全に渡さん爲多くの從者は其江岸で斬殺され或は江を渡らんとして死したものも多かつた其れで王は漸く江を越ゑて南漢山に行くを得た其の時が恰度閏年の二月であつた其處で役人が其等の人々の靈魂を慰めん爲今でも此の盛大な水陸祭が行はれるのである須磨や明石にも平家の奇しき史跡が多い千古の綠波をたゝへた平和な大湖水の樣な漢江にも此の樣な史跡がある兩岸の風光を眺めつゝ其等の靈魂を弔つてやるのも好い

▲渡賃と舟賃 何れ當日は特に對岸渡し一人片道二錢奉恩寺下迄一人片道五錢舟遊者は一時間一隻五十錢より一圓位迄勉強する事になつて居るから自由に使用が出來る譯です



江上の如何にも靜かな處は宛然たる大湖水であります上部のスケッチは其の鳥瞰圖であります如何に眺望の好いかと窺はれませう此處で舟遊をやるのも結構です奉恩寺へは此處を渡つて行きます

◇大野遊會畫報 大湖の如き漢江

來る六日の日曜本社主催家族的大野遊會場の一部たる蠶島の漢江です

◉ビールの行衛 一年に四萬圓の泡

本年から麥酒が滅法界に高くなつた爲めビーヤ黨は大恐慌、今から宗旨がへを考へる早手廻の人もあり。平壤に年々入つて來る麥酒は三四萬圓で其中平壤で泡と消ゆるのはザット一萬圓餘りの二三萬圓は他へ散つて了ふ

▲麥酒の仕出地 は時々戸惑ひ物のグレて入込む異例はあれど其數は微々たるもので主として大阪、札幌、大里と朝鮮は京城からである汽車から卸す函の數を調べたら約四千函はあらうとの事だ

▲平壤から積出 す地方は道內にては寺洞、安州、鎭南浦、平原郡の沿線地方などが主たるもので全體の過半を占め成川、江西、龍岡へも行く、他道では沙里院、黃州、兼二浦から北は定州、宣川、車輦館、等の鐵道沿線へ八九分方吸ひ込まれ其餘が奥筋へ流れるゝになつてゐる（平壤）

◉生田流春季演奏會

宮城檢校去つてのちの京城琴曲界に重きをなし居れる生田流琴曲指南白井孝子氏の主催にて來る六日（日曜日）正午より京城ホテルに生田流琴曲春季演奏會を開く由なるが出席者は同氏門下の外に曩きに中尾都山氏と共に來京して李王家總務官邸に演奏して好評を得たる都山流尺八指南佐藤都令氏琴古流家村清楓氏ヴアイオリンの名手戸井樂狂氏等の出演あるべく以上諸氏の合奏もあるべしといふ當日の番組左の如し

新松竹梅、夏の曲、千鳥の曲、早蕨、新高砂、青柳、越後獅子、楓の花、秋の曲、春の曲、磯千鳥、松竹梅、松風、殘月、冬の曲、笹の露、八重衣、夜々の星、野邊の花、明治松竹梅、大內山、時鳥の曲、都山流本曲鹿の遠音、六段、秋の言の葉、閑吟

◉聯合會四日目

素人義太夫聯合會四日目（二日）は祖太夫、奈良梅、梅若、龍糸、文平各連にて語り物次の如し

▲忠臣藏（六段目）十六（祖太夫）▲又助住家（花月）（祖太夫）▲堀川大さ（梅若）▲酒屋（八圓助）（小庄）▲いざり瀧（奈良梅）▲玉藻前三段目（眉月）（龍糸）▲八陣御殿十（文平）▲沼津の段（奈良梅）（文平）

◇猫の飼養獎勵

大阪府にては昨年大阪市內より二十二頭のペスト有菌鼠を出し府は漸次其の數の增加するを恐れ一方鼠族の驅除を勵行せしめ一方猫の飼養を獎勵し去る三月中旬大阪府下の猫の飼養調査を行ひしに大阪市內の全戸數は二十六萬三千五百五十五戸にて其內現在猫を飼養せる戸數は一萬三千八百七十九戸此猫數は一萬三千六百十九頭あり此外飼養主なき猫は三千六百六十一頭ありて大阪市內全體の猫數は一萬九千二百八十頭となり百戸に對して七、五三頭の割合なり然れば之等の合計に依る大阪府全體に於ける戸數及び猫數は全戸數五十一萬五千九百八十戸猫飼戸數四萬八千九百二十五戸にして其內現在飼猫せる家は三萬二百三十九戸其飼養せる猫は四萬七千五百六十八頭其他飼養者なきもの八千三百八十六頭其合計五萬五千九百五十四頭となり百戸に對して十四、七三頭の割合となる而して猫は普通ペスト菌に對し優勢なるものにして實驗によればペスト鼠を食したる猫百頭の內二十頭のみがペストに犯さるゝのみにて大阪府にては去る明治四十二年府下にペストの發生ありて以來僅かに四頭の猫が罹病したるのみなりと（大阪）

端午の節句と藥狩

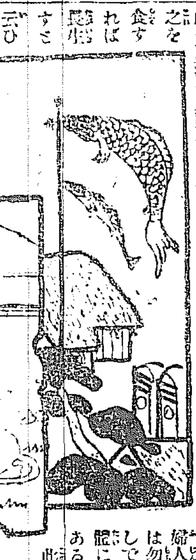
節句の記念日

三月桃の節句にお雛樣を飾つて女の子の御祝をするに對して、五月端午の節句には武者人形や鯉幟を立飾つて男の子のお祝をします。之は武者のやうに勇ましく、又鯉は出世魚ですから鯉のやうに元氣よく育つやうにとの緣喜で隨分古くから行はれた儀式です、そして當日菖蒲湯や菖蒲酒を用ひるのは一家の健康に備ふる藥を意味するのです此の菖蒲は元藥草の一種で本草綱目に之を食すれば長生すと云ひ一切の邪氣を攘ふとあります。そして此日は我國に於ける藥の記念日であります。それは推古天皇の第十九年五月五日は大和國菟野（今の宇陀郡榛原）に於て藥狩今で云ふ藥草の採集を催されたのが抑もの濫觴であります、古書にも「今日を藥日といひて一切の藥をば此日採るなり」とあり、昔朝廷の御儀式に藥玉を群臣に賜はつたのも此日であります爾來禁野は藥草發生の靈地として海內に知らるゝに至つたのです。

靈地の靈藥命の母

藥狩と端午の節句とは斯樣に古き歷史的關係を有するので同じ藥草でも前記榛原地方に產する物は野生と雖も他產に比すると質が遙に良好で價もズッと高くなつて居ます。婦人靈藥命の母の原料は此由緒深き天惠の靈地を利用して盛んに培養採集しつゝあるのです故に其藥効の顯著なる到底他產の比ではありません。されば爰には日本藥學界の泰斗下山博士が命の母は婦人藥として他に比類なしと推賞せられ、更に幾多の醫學博士其他の諸大醫が等しく賞讃の辭を惜まれざる所でありますが、これは決して偶然の事ではありません

今や青葉の木の芽吹く候となり一年中最も婦人病を發生し易い時期ですから婦人病者は勿論少しでも身體に異狀ある方は此際油斷なく藥の「命の母」を用ひて手當をなされ[illegible]ぬやう大事を未然に防がる[illegible]す



こんな容態の人

そこで子宮病にて下腹腰痛又は引吊るやうに痛む人。白帶下ながれ血で苦しむ人。頭痛逆上眩暈する人。ヒステリー血の道の人。產後の肥立ちあしき人。心悸亢進耳鳴高き人。月經不順の人。つわり又は貧血する人其他一切の婦人病者は速かに命の母を服用して其健康を恢復すると共に健かなる愛兒を擧けられん事を御勸めします。尚ほ婦人科專門大醫の書かれた「婦人病者の心得」と云ふ本には、姙娠及び不姙の原因婦人病の病理、產前產後の心得などが詳しく說明してありますから、婦人病者は藥用の如何に拘らず、是非一讀しておく必要があります。本書御入用の方は左記へ御申込あれば無代進呈します。

藥價

試用分十錢	二日分廿五錢	五日分六十錢
一週分八十錢	二週分一圓五十錢	五週分三圓

取次店 全國到る處の藥店にあり

東京京橋區新榮町四ノ一（振替東京五〇五〇番 電話京橋二〇一〇番）

大阪市北區本庄中野町（新橋通）（振替大阪三二八〇番 電話 京二二三三番）

命の母本舖 笹岡省三藥房

愛山山路彌吉著 （定價六十錢）郵稅六錢

支那論

四六版全一冊 三百三十頁

世界人口の四半を有する大國支那の現狀は今如何ぞや。一亂治まりて一亂又生じ、內政の紛糾、外交の危殆、實に名狀すべからざるものあり。支那研究の盛なる又故ありと謂ふ可也。然も本書は、著者最新の一大著作にして、支那の國家及び民人を歷史的に觀察し、過去現在及び將來に關する明快透徹の見卓也。收むる所、過去現在及び將來に關する日支關係論あり支那人の國家的觀念及び滿蒙兩人種の特性並に優劣論あり、更に阿片戰爭以來各種國際的大問題の史的評論あり。第六革命の眞相及び傑物袁世凱等に關する政治的評論あり。所論悉く正鵠的確、文章亦活達流暢にして、現代支那に關する研究又は評論中實に最高權威の著作たり。別に「代議政體と支那」「鄭成功論」を附し、卷首には「與黎元洪書」、卷末には阿片戰爭以後の詳細なる年表を添ふ。今や支那の內治外交愈々多事ならんとす、一擧支那我が帝國の使命、我が國民の責務亦重大なりと云ふべし。敢て一卷を江湖の諸賢に薦む。

發行所 東京京橋區日吉町 振替東京一三〇〇番 民友社

發賣所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

各種萬年筆即時修繕 京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

株式相場に失敗するは何故か 比較的安全に成功の途あり

▲株式相場に就て頭から危險なる思惑として恐るゝは果して何故であらうか……株式相場と云ふ言葉すらも地方に據りては遠慮勝ちなるは果して如何なる原因であろうか……曰く失敗者が多いからである、株式相場に失敗……財產の倒壞……と云ふ事が過去の例に多いからである

▲諸又相場は何故危險であるか何故恐ろしいか、過去の例は何故失敗者の數を多く示して居るか、其失敗の原因を算へ上げて見ると（一）新聞記事の參考、（二）他動的勸誘、（三）一六勝負のつもりで思惑する事、（四）諸會社の內幕を知らざる事、（五）思惑の機會を知る便宜なき事、等先づ最大なる失敗の原因であつた。然して其缺點を補ふべく生れた者は雜誌株式世界である

▲此間題計りは廣告的言辭はダメ何んとなれば、過去の事も亦前途の事も一々證明して行くからである、吾人の主張が山師的か否か過去發行に係る「株式世界」を一讀せられたい、前途を知らんとせらるゝ方は向後の雜誌を一讀し又證明して頂きたい。一見百聞に如かずで過去も前途も一々記事が證明して行く。

▲事實一代に百萬の資產を作らんとせば株式市場に如くものはない、然し虎穴に入らずんば虎兒を得ずで危險である。株式市場は國家經濟上の唯一なる機關であつて天下の公開市場である、去る株式市場は一六勝負を爲す處ではない、夫れ丈け見當が付けられる、相場の高低波瀾を起して居るのであるからツマリ其原因を早く知つた者が勝利者となる譯である。

▲之れ迄の樣に新聞記事一つの參考のみでは失敗するのが當然である、何んとなれば新聞は結果を報導するものであるのに、其結果を見て思惑し儲かる筈が無いではないか、後の祭り損をするのが普通である、株式市場で儲けんとせば總べての材料を新聞よりも早く知る必要がある。

▲新聞記事を見て地方の人々が思惑する頃は兜町も北濱も第二順の相場になつて居るから萬事後から計り追つて行く事になる素人考ひにも儲からぬ事が知れるではないか吾人は我田引水論は述べぬ一般廣告的大言は吐かぬ先づ本社發行「株式世界」を一讀せられたい御申越次第「見本は無代進呈すべし」毎月二回十日、廿五日發行定價一部金拾錢半年分一圓十錢一ケ年二圓

東京下谷清水町交番前 經濟雜誌 株式世界社 振替東京三四五〇七番

醇良無比双清酒

無害衛生 品質無双

醸造元 福岡縣城島町 首藤合名會社

發賣元 京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 長電話一七一一番

釜山幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

眼科專門 金井眼科醫院

京城本町四丁目カルス温泉横（電一五五六）

日曜祭日午時中

金井豊七

明君道中記

第百三十三席　田邊南龍口演

家光公の御姿を見て一人の曲者飛込んで參つたが、覆面爲して薙刀を提げ袴の股立高く取上げ草鞋を穿ち御前間近く近付いた時に、家光公は向ふを見てお在遊ばした故お氣が附かなかつたが、竹齋是を見て　竹「ヤア大變だ一人來た、曲者が參りましたと申し上げましたが、何うも舌が縮んでしまつた樣な按排で口が利けない、身體は竪でしまうし只上樣の御袖を無暗に引張つて居る　家「何をいたす　竹「ツカ〳〵」と指しを

血振いを爲した一刀を提げ　家「竹齋如何致した、曲者の千二千參るとも竹齋一人居れば大丈夫と申しながら何たる態じや　竹「洵に恐入りました是は突如でございます油斷は仕方がございません、聖人も暗夜の礫は防ぎ難いとか、豈夫曲者がお側へ出やうとは思ひません　家「此の上ともに油斷いたすな　竹「畏り奉る、恐れながら最早御安堵遊ばさるゝ樣、竹齋此處に控へて居りますれば曲者の百人位來るとも　家「ハヽア千二千が百

して居る　家「何じや　竹「ツカ〳〵」　家「白痴め、退つて居れ」と身體を後へお引き遊ばしお腰につけてお出遊ばしたのが二代目の正宗、前名國九郎正近と云つて正宗の名を相續いだした俗に是は傳法正宗といふ御秘藏の佩刀、中柄に手を掛けたなり入身になつて其の曲者の容子を見ると、彼の曲者に於て將軍家を確と見定めて　曲「推參」といふとスパリと斬付けたる薙刀の下に御身體眞二ツと思ひきや體を躱した其の早さ　家「下郎推參」とハッタとお睨み遊ばした、何しろ顧和漢學兩院の別當源氏の長者征夷大將軍家光公に睨まれたること故彼の曲者は眩眼んでヨロ〳〵と退る處を拔討に背諸共肩先より大袈裟に斬下げられた、ブル〳〵ッと

に相成たかとお笑ひ遊ばして居る處へ又一人刀を提げて來た曲者、家光公は體を斜に遊ばして御覽になると此者は餘程手强いと見わヤツと一聲叫んで斬付けるをガッチリ隅際にて將軍はお受け遊ばし、流石但馬守仕込みの腕前橫に拂つて一文字に曲者の首は遙か向ふへ飛ぶ　家「竹齋」　竹「ハッ」　家「退つて居れ」　竹「恐れながら竹齋罷在りますからは曲者何人來るとも大丈夫で　家「其方は口のみにて役立んの」又一人覆面頭巾で面を包み薙刀を提げ見參と呼はりながら將軍家の前に立出で、宍澤流か靜流かは知らねども薙刀を大流しにつけて斬込んで來る樣子是は前に出たる兩人どは違ひ薙刀も名人と見わ身體に少しも隙がございませんから家光公

は　家「オー剛敵じや」と被仰つた。傍に聞て居りました竹齋　竹「剛敵でございますか大變な者が出ましたな。何にも道樂處へ剛敵が出ないでも宜いのに」將軍家の一大事でございますと云ほふとしたが、素より松平越中守と云ふことになつて居るから將軍家と云ふ譯にも叶かない。竹「オーイ何誰かお出下さい一大事出來いたしました、剛敵が出まして竹齋一人では凌ぎ兼ますから何誰かお出を願ひます、オーイ〳〵」と大きな聲を揚げたが、先方は劇しい戰の半であるから誰一人來る者が無い其の内に彼の曲者は薙刀を振つて將軍家に渡り合ひ上段下段と手を盡して手ふ內に、家光公に於ては少しく受太刀にお成り遊ばした、竹齋は　竹『シッ畜生〳〵』と云つたが呪氣な奴で犬ではあるまいしシッ〳〵と云つた處で逃げるものではございません將軍の身は危急に逼つて居る

京都 たまや出張店　呉服　染　電話二九六

暦

五月四日　九星
舊三月十四日　丙午
本命　一白　北平　佛滅

△一白　待ち遠しい事有り…見合西方は吉
△二黑　間のわけた事…
△三碧　…
△四綠　盛んなる日…
△五黃　…
△六白　…
△七赤　…
△八白　大切なる日…
△九紫　…

歯科診療　野田歯科醫院　本町一丁目三越向　電話一〇四七番　歯科醫士　野田應治

口演藝案内

黃金館　電話二六三七・六五二　大然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店

五月二日より寫眞全部差替
◎大滑稽ハムと氷屋　例に依つて當館專屬…
◎新派悲劇曙の歌　全三巻
△舊劇奴之小萬　全五十二巻
◎活劇創痕　全三巻
△米國ユニヴァーサル會社作

贊化病院　京城本町二丁目　電話二四番
醫學博士　古城憲治
醫學士　上野亮藏
內科　小兒科
入院隨意
無料施療す　毎日五名を限り

周易　介石堂　明治町二丁目　岡村介石

大正館　櫻井町　電話八七三　日本活動寫眞株式會社代理店
五月三日より特別大興行
○新派悲劇小町お濱　全三巻
○家庭悲劇春の海　全五巻
○軍事活劇第十快漢ロロー第十六第十七篇
△米國ユニヴァーサル會社傑作

有樂館　京城本町一丁目　電話二〇五番
二代目桃中軒雲右衛門襲名披露興行
△四月二十九日より五日間限り
△二日讀物
◎五月四日より活動大寫眞と大餘興
◎期待せよ内外共に充實せる有樂館

黃金館
▲臨時寫眞差替三大寫眞提供▼
三月大阪樂天地にて大好評を博したる
◎新派悲劇「曙の歌」名優澤村四郎五郎大活躍
◎舊劇「奴の小萬」
◎滑稽「ハムの氷屋」大滑稽お腹の宿替
例に依つて當館專屬日本一滑稽辯士久世喜濤說明
二日より上場

浪花館　明治町　電話二六〇
△東京大阪合同落語大一座
…
△入場料特等の外金十錢均一

御成座　御成町　電話一九一
第十四回公演
大橋青波氏著松葉時雨　全八幕
二、復活　全三幕
登場俳優（新加入）林五郎、山岡定雄、…

▲書籍案内▼
山縣五十雄譯　五版 小說 過去の罪　價五〇　税〇四
井田絃聲著　小說 妻　價七〇　税〇八
德富蘆花著　小說 不如歸　價四五　税〇六
同　縮刷小說 思出の記　價六五　税〇六
京城日報代理部（振替京城三〇〇）

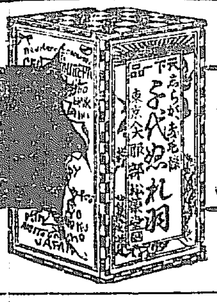
金剛飴

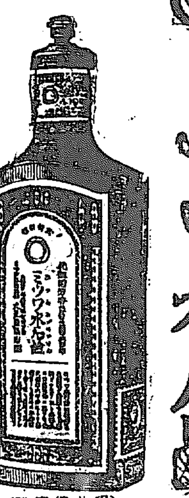
岡田博士を初め、森、飯島、稻田、日向、內田氏等十有餘名の諸大家が有効なる事を證明せらる
はかりは催眠の良劑なり
本品は最も安全に腦の營養を計り故に腦病に奏効し…
頭痛、不眠、眩暈、記臆力減退等の腦病患者は最も…服用あれ
レーベンは容積小さく休裁を害らず服用極めて少くして効顯極めて大なり
藥價（三十錠）五十錢・（八十五錠）一圓六十錢
東京銀座四丁目　電話京三〇八番　中南定太郎
大阪安土町三丁目　電話本三〇〇七番　中南定太郎
振替東京七三〇四〇番
信用ある藥店に有り　直接注文に應ず

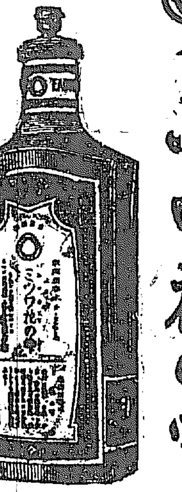
蛇印アンチピリン丸
かぜ　ねつ
最良藥
早く治る薬　よくキク薬
さむけ出で發熱し、頭痛し手足だるく、水ばな出る時本劑を服せば不思議の効あり（價十錢、十五錢、廿五錢）
にせ物有り蛇の商標に御注意
本舗　大阪　東京　丹平商會

ルーデサック　特製品
A十個四十錢　B十個六十錢　菱形一個廿五錢　女用一個八十錢廿個以上一割引　郵券代用一割增要送料　▲月帶一個七十五錢　振替京城三二七番
京城黃金町三　山田文殊堂藥房

△白毛赤毛で
おこまりの方は
最も手輕に染められて
一番染著の確かな
千代ぬれ羽を
お使用なさい

東洋一
白毛染
千代ぬれ羽

タツタ一度で
それはく美しい
黑髮に手輕く染ります
定價　小二十錢　大三十五錢
▲全國藥店化粧品店にあり
本舗　東京　服部松榮堂

本邦人の皮膚毛髮に適する化粧用水石鹼
◎ミツワ水石鹼
ミツワ石鹼が品質純良にして皮膚毛髮の洗滌に適し、水石鹼も亦優良なる品質を具備せる芳香化粧料なり、從來の普通水石鹼には刺戟甚だしく皮膚毛髮を傷ふもの多きに反し、◎ミツワ水石鹼は優秀なる原料と馥郁たる芳香料とを以て精製せられ、洗滌に際して隨意に適量を振出すことを得、他人の使用せる後にも些の不快を感せず、皮脂の分泌夥多に而も皮膚粗糙なる本邦人の化粧用水石鹼として、實に理想的の逸品にして、生彩ある化粧を施すに最も好適のものなり。
定價　金參拾五錢　大壜　金五拾錢
MITSUWA LIQUID SOAP.
Very best materials and exquisite fragrance are blended in Mitsuwa Liquid Soap. It refreshes, invigorates and delights as no other soap can. It makes the skin soft, smooth and beautiful, while it will not injure even the tenderest skins.
Price 35 Sen and 50 Sen.

（現品縮寫圖）

芳香馥郁たる家庭用肌着香水オー、ド、フラール
◎ミツワ花の雫
優秀なる原料と馥郁たる芳香と熱練なる技術とを以て精製されたる家庭用香水◎ミツワ花の雫は、温雅なる芳香を有し、清涼爽快の感を與ふる理想的の家庭用品なり、從來の家庭用香水には徒に强烈なる香を放ち、手巾衣服等に振掛くれば、汚點を殘すもの多きに反し、◎ミツワ花の雫は人を魅するが如き床しき温雅の芳香を有し毫も汚點を殘す憂なく肌著、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面浴槽等に用ふれば、清涼の感を得ること、本品に優るものなく、各家庭に常備すべき優良なる香水なり。
定價　金四拾五錢　大壜　金七拾錢
EAU DE FLEURS
made from the best materials by a perfect chemical process, has a delicate and exquisite fragrance. The application of this Mitsuwa Lotion on your underwares, towels, handkerchieves, sheets or into the water when washing or bathing, will be so charmed and quite refreshed.
Price 45 Sen and 70 Sen.

（現品縮寫圖）

毛髮の營養料頭髮用衞生香水ヘーヤ、ローション
◎ミツワ月の雫
從來の頭髮用香水には、毛髮を傷め又は毛根を害ふもの多きに反し、◎ミツワ月の雫は温雅の芳香を有し、毛髮の營養發育に効ある理想的頭髮用香水なり、優良なる品質を具備し、毛髮の衞生に適する◎ミツワ石鹼を以て、毛髮を洗滌せる後用ふれば、爽快の感を得、毛髮の發育を助け、毫も之を傷め害ふことなく、色澤を艶美ならしめ、脫毛及垢脂の過度を防ぎ、營養を良くするに特効ある美髮料なり。故に毛髮の衞生に留意し、美髮を欲するものには、實に理想的の頭髮用香水なり。
定價　金五拾錢　大壜　金八拾錢
MITSUWA HAIR LOTION.
Apply a few drops of the lotion after washing your hair, you will notice the delightful sensation of keeping your hair clean, sweet and healthy. It has a faint, yet delightful smell. It is the best lotion known to remove the dandruff, and stops scalp itching and prevents falling hair.
Price 45 Sen and 80 Sen.

（現品縮寫圖）

ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥
ミツワ椿油
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元　◎丸見屋商店
東京市日本橋區橋町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電話營業部浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番
電信略號　○ミヤ　振替貯金口座東京七一〇番

京城日報 第三版
五月三日(夕刊と合せて八頁)
本紙定價 一部金二錢五厘一ヶ月金五拾五錢郵稅一ヶ月金拾五錢郵送に限り前金三ヶ月分二圓六ヶ月分四圓▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢▲二號活字八字詰壹行金壹圓六拾錢▲三號活字同上四號活字拾字詰壹行金壹圓拾錢六號活字廿一字詰金七拾貳錢
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話[編輯局][營業局] 振替貯金口座京城

支那商工業の變遷(三)

今關天彭

一、上古の商業(其三)

堯、舜以前は傳說時代であつて、やや信憑すべきは堯、舜時代からである。堯の時に九年の大洪水があり、それを治めたのが禹であつた。今、書經の禹貢に見ねたものによつて、當時の商業地理を考へると、1冀州(今の山西及び直隸と奉天の半)2兗州(今の直隸及び山東、河南)3靑州(今の山東)4徐州(今の山東及び安徽)5揚州(今の安徽、江蘇より浙江、江西に至る)6荊州(今の湖北及び湖南)7豫州(今の河南及び湖北)8梁州(今の四川及び陝西)9雍州(今の陝西より甘肅に至る)所謂る九州の地に及んで居り、支那全體に於いて未通の所は、滿洲の大部分、及び福建、兩廣、雲貴、新疆等の各省のみで、餘はことごとく川陸四達して居る。就中冀州は堯、舜、禹の都を立てたところであつて、當時の中央部であるから、八州の商人が陸續として來り集つた。その商品は禹貢に見ねたる諸州の貢物に據つて徵すべきである。1兗州からは漆、絲、織文(錦や綺の類)2靑州からは鹽、絺、海物(海産物)絲、枲、鉛、松、怪石3徐州からは翟(雉の名)桐、磬(樂器)4揚州からは金、銀、銅、瑤琨(玉に似た美石)篠簜(竹)齒(象牙)革(犀や兕の皮)5荊州からは、羽、毛、齒、革、金、銀、銅、杶幹(漆に似た木、弓を作る)栝、柏、礪砥、砮(石の鏃)丹(丹砂)箘簵(美しい竹)楛(矢幹にする木)菁茅(祭祀の縮酒に用ふるもの。縮酒とは茅を束ねて立て置き、その上へ酒をそゝぎかけて酒を神が飲むやうにするなり)元纁(黑赤色の帛)璣、組(印の紐)大龜(卜筮用の龜甲)6豫州からは漆、枲、絺紵、纖纊、(細かなる綿)磬錯(磬を作る錯)、7梁州からは、璆、鐵、銀、鏤(剛鐵)熊、羆、狐、狸の皮、8雍州からは、球琳(美玉の名)琅玕(玉に似た石)であるがその列擧するところの中では、たゞ怪石、菁茅、大龜、磬錯等が日用品でないのみで、外は悉く日用品であるから商品であらう。諸州から已に此等の諸物を都へ持つて行く程であるから、州と州もの間には、商的行爲のあつた事も爭ふべからざる事實である。故に禹貢の一篇は僅に九州の販路を記してあるといつても差支がない。また當時は四夷來王して、異種族と交通の姿が見ねる。その産物は前の如く禹貢に據ると、北方の島夷は、皮服即ち鳥獸の皮で作つた服を貢ぎ、東方の萊夷は、檿絲即ち山桑から作つた絲の、强くして琴や瑟の絃となすべきものを貢ぎ、南方の淮夷は、蠙珠即ち貝から取つた玉それから魚類と、元といふ黑い繒と纖縞といふ白い繒の細なものを貢ぎ同じ南方の島夷は、卉服即ち葛布の服、織貝即ち貝の模樣を織り出した錦と、橘、柚とを貢ぎ、西方の崑崙、析支、渠搜等の戎は、織皮即ち皮衣を貢いだ。これ等はみな支那本部と商取引があつたのであらう。この說明の本據とした禹貢は、禹の當時のものでなく、春秋戰國時代、もしくは漢代に僞作し補作したものであるとの事である。しかしながらこれによつて益を受くるものが頗る多いと思ふところから、本據として說明したのである。これは讀者諸子の賢明なる省察を請ふ次第である。

洪水を治めた禹は、舜の禪を受けて帝王となり、夏一代の祖となつたが桀の時に至つて殷の成湯の爲に亡ぼされて、殷の時代となつた。夏の世は、商人の活動が漸く著るしく見ね社會の趨勢も、大抵勤勉であつた。殷となると商人が多くなり、運輸の道具の舟や車などの發達を見た。即ち黃帝の創案になつた車も時代の進運につれて、少昊の時には牛にて挽かせ、禹の時には馬で挽かせるやうになり、また舟も餘程改良が行はれた。斯うなつて來ると賣買する範圍も餘程廣くなつて來るのは謂ふまでもない事である。

遊支所感

(四) 對外貿易

漢城銀行頭取 韓相龍氏談

△貿易の趨勢 支那の對外貿易は之まで年々入超を告げ尠きも一億五千萬兩、多きは二億二三千萬兩を算せる狀況なりしが歐洲動亂勃發以來漸次其の趨勢を一變し今や大に有利の地位を占むるに至れり、這は同國に於ける工業熱の勃興並に工業原料の輸出增加等與つて最も力あり爲めに輸出は比年增進し大正五年の如きは入超額僅々三千萬兩に止まりしのみならず昨年來銀相場の昂騰は又同國に非常の好影響を與へ居れり

△各國別貿易 支那の對外貿易は從來英國を最とし香港、米國、日本の順位なりしも米國は戰亂の爲め特別の事情に依りて昨年の如きは非常の多額に上りしが、香港は支那來往の外國船舶は支那より必ず香港に集り一旦荷上せる後南洋、米國、印度其の他歐洲各國に之れを分配するを常とし居たるを以て同地は實に各國貿易の取次地、各國貨物の一大倉庫とも稱す可き地位に在り、從つて支那の大官富豪等は或は政治的關係上或は取引的關係上主として住居を此處に卜し萬事を扱ひ居たるが爲め同地は眞に無比の有力地たりき、然るに近時日本の勢力發展に伴ひ大官、富豪等は靑島、旅順の如き我勢力圈內に集るもの次第に多く船舶の如き亦た直接航路を取るに至れる結果、香港の勢力は多少衰退の傾向を來すに至れり

△日支間貿易 日本の對支貿易は大正三四年は各二億七千萬圓なりしが大正五年に至りては三億七千萬圓を越ゑたり、之れ地理的關係上支那に於ては日本より供給を仰ぐの有利なるに掲て歐洲貨物の入減に伴ひ我國に對する需要激增せるが爲めなり、現下日本よりの重要輸出品は棉糸布は勿論、米利堅粉、木材等其の他多數を算せるが其の內棉絲布、米利堅粉、木材等は從來米國より出せる斛最鮮少ならざりしも之等は頃者日本の壓迫を受けて其の數を減ずるに至れり。而して支那に於ては鐵其の他の鑛產物、棉花、生絲、皮類油類、大豆、豆粕等の重要產物はまた主として之を日本に輸出するの傾向を來せり、如上の理由に依り日本は支那の對外貿易に就きては從來第五位六位の邊に止まりしも近時一躍第四位を占むるに至れるのみならず本年の如きは更に第二位に達す可き見込あり

家族的大野遊會

斯る愉快な企てありや

纛島の花盛奉恩寺の名刹
靖陵宣陵の大深林に閑古鳥

餘興
鮮人網渡賽探舟遊相撲
自轉車の變裝と運動會

電車自動車の便あり
五月六日(日曜)
京城日報社
每日申報社

家族擧つて一日の快遊

南洋見物

(2) 熱田丸の出帆

淺岡重喜(投)

二月四日、晴天なれども寒氣酷烈を極む、不在中の要件は摘錄して其處置を妻に一任し、挨拶知己の家を訪ふては、不在中のお世話を賴み親友が開いて呉れた、送別會には出席せねばならぬなど中々に多忙である。

家族は主人の行を目にし、且つ其前途を祝福せんとて祝酒赤飯等を用意して待つ、尋常四年生の高麗子、一年生の喜代子迄が、四角張つて殊更におとなしく見ねて。

午後七時五十分發の釜山急行車に乘らんさして南大門驛に出づれば、親しき人々は歡送の爲に驛頭に來らるゝ官吏、軍人、記者、會社員、旅亭の女將等、打交りて數十名、中にも岡田氏の病中を冒して身を切る如き寒夜に送られし厚意等は、殊に嬉しく感謝する所である、白田一耶氏は態々門司まで見送るべしとて私と共に同乘して呉れた。

五日未明釜山驛に著く、鐵道ホテルに手荷物を投げ込み、朝食を濟まして、小宮萬次郎氏と白田氏と共に東萊溫泉に遊び、夜に入つて高麗丸に乘る、玄海洋上風波なく、翌朝七時三十分下の關に著く、山陽ホテルに投宿して、熱田丸の出帆時間を問へば、船は都合に依り二日間延期して出帆する豫定であると云ふ、好機逸すべからず此間を利用して、私の命ぜし日頭要人の銅像參拜を實行する事にして、直に驛前に走つた、阿部、大石の二氏あり、相携へて東公園に行き龜山天皇、日蓮上人の二銅像を拜し、箱崎八幡宮及び太宰府の天滿宮に參詣し、二日市溫泉場武藏屋に投した。

二月九日熱田丸は正午門司出帆上海に向ふのである、既に一行は左の十二名で中々に賑かな事であつた、依岡省輔、森田茂光、西川玉之助、西川はつ子、加賀林庄吉、濱田安左衛門、中野八夫、仁尾惟茂、森脇孝甚、富永秀已、淺岡重喜、以上で、此中には會社の重役もあれば、醫學士もあれば、醫院の先生もあれば、船舶部の主任もある、官廳技師を持つた人、測量機を携へた人、各自異つた所の任務があるのである、朝來降り続けたる雨は十時頃より風と變じ交へて、天候險惡を示して來た、されど送る一行を見送るべく本船に來られし人は數百名の多數であつた、既に出帆報告の銅鑼は各室に響く互ひに無事を祝すべき三鞭の杯を擧げ見送の人々は六艘の小蒸汽船に分乘して、手巾、帽子等を打振りつゝ皆で見送られて次第次第に本船と遠ざかつて門司と馬關へ航つて行く前後の錨を捲き上げつゝある努力の聲は勇ましく、此出帆間際に於て一行中一名の缺員ある事を知つた、誰であらふか點檢の結果(假名)ホケツ、マチージヤー君なる事が判つた、今となつて奈何ともする事が出來ぬ、本船は長崎に寄港せぬから汽車で後を追ふ手段もない、後船となると一週間は後れるであらう、サア大變と騷ぎ立つた一剎那、誰が門司方面の彼方より、怒濤と戰ひつゝ、怪しく雨を物ともせず、三名の舸子を督して本船目掛けて急ぎ來る一艘の小解舟がある、ウヰスキー君(假名)手早く望遠鏡を取つて之を凝視し始めて其缺員なれるホケツ、マチージア君なる事を知り、一行の喜び何にか譬へん、先づは最初の失敗を茲に償ひ、船は針路を南に取りて徐々に動き出した

一萬六百噸の船の首途や春の雨

大阪より

△帆船運賃弱含 季節的關係より近時帆船の自由入港するもの過多なるを以て一時若松大阪帆船石炭運賃三圓二三十錢のもの目下二圓八九十錢に下押しの狀態を呈し居れるが大阪炭商大手筋は送炭上の缺陷を補ふべく各自中小型の汽船を就航せしめ居れり從て七八月頃に至らば一層低落す可らんと觀測せらる

△川崎造船と證明 川崎造船所兵庫分工場は角鐵棒鐵の製造をなして成功せるが今回民間に於て至難なる造船材料即ち龜甲マンクル製造を開始したるが良成績なるよりロードの檢査に附し證明を得たるを以て製品に證明を附し各市場に賣出し居れり斯る事は同所を以て嚆矢とす

△日本海事工業 日本海事工業創立後の事業第一着として過般六潮沖に於て坐礁したる露國義勇艦隊ボルタワ號引揚契約成立し既に同社所屬有馬丸は人夫及び材料を積載して門司を出航したるが離礁までに約二箇月間を要すべき見込なり而して引揚の上は應急の修理を施し上海に曳行したる上三菱造船所の手に委すべく同時に賞與の外成功金三十萬圓を受くべしと

△東洋捕鯨業態 同社の今期成績は頗る良好にして二月以來今日までに捕鯨二百四十頭に達し前期より七十頭の增獲を呈せり計進中の魚油製造業は横江魚油三共合社鈴木商店等の競爭會社の現出するありて之と步調を一にすべきや否や講究中なり鯨油は目下十圓以上の好況を唱へ年額十二三萬石に達すべければ其の賣揚高のみにても同社の經常費を償ひ得べく且つ前記の如く七十頭の增獲ならば前期に比し總體に於て約三割以上の增收を見るならんと(大阪支局)

日報詩壇

○僧院閑寂 直井默樓
遠陽紅塵古梵城。鐘魚遮斷白雲橫。官餘僅慰平生樂。終日閑碁忘世情
評曰 閑適

○梅花書屋圖(限韻) 栗原華陽
家在林間路一燈。梅花枝上月光澄。書聲朗朗響如玉。萬斛暗香深夜凝
評曰 諸念如灰冷、乾坤萬象幽

○春夜訪友 內田六園
經聲燈影認僧軒。一笑來敲月下門。籬外梅花香動處。夜深拈句役吟魂
評曰 月夜花前與方外友對坐、何等風流、句句極有韻致

▲山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

商業登記公告

東洋拓殖株式會社社債登記 社債總額金貳百萬圓、各社債ノ金額金五萬圓、社債ノ利率年五分參厘、社債償還ノ方法及期限大正九年參月壹日迄据置拾七箇年間ニ毎年貳回(參月、九月)毎回金五萬圓以上ヲ償還ス、各社債ニ付拂込ミタル金額全額
右大正六年四月貳拾八日登記

商號新設 商號日月、營業ノ種類 清酒醬油味噌製造販賣、營業所 京城府初音町貳百番地、商號使用者ノ氏名住所 同所篠田東治郎
右大正六年四月參拾日登記

株式會社朝鮮商業銀行資本增加ノ登記 增加資本ノ總額金四拾貳萬五千圓、各新株ニ付拂込ミタル株金額金拾貳圓五拾錢、增加資本決議ノ年月日 大正六年貳月貳拾四日
右大正六年五月壹日登記

京城地方法院

法人登記公告

南陽地方金融組合監事洪鎭善金鉉道基頭任期滿了大正六年四月貳拾五日洪鎭善金鉉俊再任京畿道水原郡陰德面南陽里第貳百四番地朴潤榮就任
右大正六年四月參拾日登記ス

京城地方法院水原支廳

商業登記公告

◎寧越地方金融組合登記事項變更
○出資ノ總口數ヲ參百六拾九口拂込ミタル出資ノ總額ヲ壹千百五拾六圓八拾六錢ト變更ス
○監事任期滿了ノ處大正六年四月六日改選ノ結果、江原道寧越郡內面永興里壹統七戶嚴達煥、同里壹統四戶張漢植、同里八統六戶池璟錫、各重任ス
右大正六年四月二十日登記

京城地方法院原州支廳

汶山浦地方金融組合登記事項中主タル事務所ノ所在ヲ坡州郡臨津面汶山里四拾七番地組合長ノ住所ヲ坡州郡炭縣面吾今里參百八拾四番地、理事ノ住所ヲ坡州郡臨津面汶山里五拾五番地ト變更ス
右大正六年四月參拾日登記

京城地方法院汶山出張所

法人登記公告

麻田地方金融組合監事尹佑炳、尹圭榮ハ大正六年四月貳拾貳日定時總會ニ於テ改選ノ結果各重任シ同日漣川郡嵋山面柳村里五百參拾貳番地鄭德根監事ニ就任セリ
右大正六年五月壹日登記

京城地方法院漣川出張所

法人登記

廣州地方金融組合登記事項中出資總口數ヲ參百七拾四口ニ拂込ミタル出資總額ヲ金七百八拾九圓四拾八錢五厘ト變更シタリ
右大正六年五月壹日登記

京城地方法院廣州出張所

法人登記

永登浦地方金融組合ハ大正六年度末日ノ現在ニ依リ出資總口數及ヒ拂込ミタル出資ノ總額ヲ金參百七拾八口金九百壹圓五拾九錢ト變更ス

商業登記

日本ウール羅紗株式會社ハ大正五年拾貳月貳拾四日商號ヲ日本ウール工業株式會社ト變更シ同日東京市日本橋區北槇町五番地阿部彌三郎取締役ニ就任同日監査役阿部彌三郎横山進一郎任期滿了ニ付キ東京市神田區本町壹丁目五番地金原已三郎東京市查役ニ就任ス同日資本金拾萬圓ヲ增加シ各新株ニ付拂込ミタル株金額ヲ金拾貳圓五拾錢トス
右大正六年四月貳拾八日登記

京城地方法院永登浦出張所

大隈侯自傳 本號より每號連載

日本一

回顧八十年 大隈重信
當代第一の世界的巨人たる侯が狂瀾怒濤の間を縱橫邁進せる過去八拾年間の活歷史は親しく侯の口舌に依て躍動す

海外發展者必須の性格 志賀重昂
◎近眼者新く透視 社論
◎本願寺根本改革論 高島米峰
◎世界に誇る日本の植物 牧野富太郎
露人氣質 八代海軍中將
◎らしくない男 野村胡堂
◎停春漫記 加藤咄堂
◎甲州名物いろ〳〵 菊井三四郎
尾の短い猫 新渡戶博士
意外錄 和田垣博士
大阪陣 福本日南
和田及び藤山 武藤 神長倉眞民
◎行け南洋の富源へ 多田恵一
◎露國の娘子夫人 下川凹天
◎新橫綱大錦卯一郎論 角屋王
小唄供養 小杉天外
◎長五郎の飛俠(助六) 錦城齋典山
◎科學小說呪の飛行船 倉富砂郎
◎落語師弟人相撲 三遊亭円朝
日本一丸 小金井蘆洲
定價金拾五錢 送料壹錢五厘 東京牛込南北社 發行 振替東京九四四番

工業講習錄 建築科
講師=東京高等工業學校教官分擔執筆
▼大工は勿論建築に從事する者は必ず讀め!
▼家作主にも最も適當の參考書として歡迎さる
▼講義は平易にして內容は豐富●會費は極めて低廉にして他に類なし
▼本會には別に機械科=應用化學=電氣工學の講義録を發行す
會員募集 見本進呈● 東京小石川表町一〇九 大日本工業學會

謹告

頃日我撫順炭の內外に於ける需要は著しく膨脹を來し供給免角不足勝なるより今回又々本社の通知により今日より左記價格に改訂の止むなき事情と相成候乍去價格に於ては他炭と比較し未だ餘程の値鞘有之候に付何卒事情不惡御諒察被成下一層御同情御引立に預り倍舊御用命の程奉希上候

一、塊炭 壹噸に付 半噸以上(持込) 金拾五圓貳拾錢
一、同小賣 壹叺に付 壹叺以上五叺迄(持込) 金壹圓參拾錢
一、切込炭 壹噸に付 半噸以上(持込) 金拾四圓貳拾錢
一、粉炭 壹噸に付 半噸以上(持込) 金拾參圓貳拾錢

大正六年五月一日
南滿洲鐵道株式會社
撫順炭販賣業者一同

○英獨兩軍の空中戰

四月三十日モンチレブルート、スカルペ河との間に於ける我が陣地に對して行はれたる敵襲は完全に擊退せられたり二十九日には航空隊の大活躍を見たるが敵側は其の十機を擊ち落され更に他の十機は操縱不可能となり我が機は十五機行衛不明となれり（倫敦電報）

○財政總長後任投票

一日參議院に李經義氏の財政總長同意投票行はれ總數二百六票中同意百六十四票にて通過せり（北京特電）

○內府親任

天皇陛下には二日午前十時三十分宮中御座所に於て波多野宮相鷹司侍從長侍立の上左の通り內大臣親任式を行はせられたり

樞密顧問官正二位大勳位 侯爵 松方正義
任內大臣

式終つて後新內府は直ちに皇后陛下の御機嫌を奉伺し次で內大臣府職員及び波多野宮相鷹司侍從長大森皇后宮大夫等に面會親任の挨拶を爲したり（東京特電）

□勅語 松方侯へ賜はる

既電松方侯內大臣親任式に際し當日侯は燕尾服に菊花頸飾章を佩し自動車を驅りて坂下門を入り北御車寄より參內御前に進みて恭しく辭令を拜受し同時に左の如き優渥なる勅語を賜はりたり

勅語

朕卿カ積年ノ忠誠ニ倚信シ內大臣ノ重職ニ任ス朕卿カ老軀ノ勤勞ヲ思ハサルニ非スト雖今日ノ時局卿ニ須ツモノ尠カラス卿其ノ勞ヲ辭セス啓沃輔弼センコトヲ望ム

侯は今更聖旨の優渥なるに感激し十一時御前を退出せり（東京特電）

○松侯就任經過

松方侯內大臣親任に就ては從來山縣元老、寺內首相の間に屢々協議されたる次第なるが要するに內大臣の職は古制若しくは伊藤公內閣の諸奏當時新設の事情は兎も角桂公を強いて入府せしめたる頃には常時輔弼の大任を以て之を遇する事となり其の地位に膺る者亦國家の重寄にして且つ政治上に經驗多き一代の名流に非ざれば不可なりとし其の後公の宮中を出づるや一時伏見宮殿下の御出仕を見たるも轉て元老の一人たる大山公を起たしむるに至れり斯の如く內大臣の位置は政治上第一流の人物を以て之れに當つる事とし今回亦松方侯を推奏せるに至りたる次第なるが本問題に對する各元老首相間の意嚮は最初より松方侯を煩はし山縣樞府議長と相並びて獻替の任に當るこそ老臣畢生の奉公なりとせるもの、如く一面又健康上より見て當初より松侯大任に堪へずとて再三固辭せしに拘はらず山縣公、寺內首相は侯を起たしむるの意を翻さず斯くて愈々去月上旬侯が湘南より歸京するや折柄在京中の山縣公は人を以て就任を勸告し首相も一再ならず熱心に慫慂力說する所あり其の結果最近に至り漸く侯も內諾する事となり寺內首相は一日の閣議に之を報告し直に其筋へ奏薦御裁可あり二日親任式を見るに至りたる次第なりと（東京特電）

○樞府顧問缺員

樞密顧問官松方正義侯內府親任に就き顧問官に一名の缺員を生じたるを以て近日後任者を決定し親任式を擧行さるべし（東京特電）

○勝田藏相演說 稅關長會議に於ける

二日稅關長會議に於ける勝田藏相の演說大要左の如し（東京特電）

（前略）對外貿易は益々增進の勢を示し昨年は輸出入總額十八億八千萬圓に上り三億七千萬圓の輸出超過を示せり本年に入りては前年に比し更に盛況を呈し四月下旬迄の概算にて輸出入總額七億三千八百三十九萬圓輸出超過一億六千二百七十萬圓を算し開戰後の出超累計は實に七億六千六百二十萬圓餘の巨額に上れり本年の貿易狀況は歐洲諸國に於ける輸入禁止制限竝に於ける運輸、禁輸の障害及び最近の革命並に米國の參戰に基く各種の影響等に依り其の前途は必しも坦々たる平路の如くならずと雖も要するに本年の貿易は今日の大勢より考察すれば恐らくは昨年以上の好況を告げ本邦貿易統計上の新記錄を作るに至るべし云々（下略）

○參謀次長視察

田中參謀次長は二日築港を視察し三日發市島に向ふべし（大阪特電）

○佐藤警視總長巡閱

都督府佐藤警視總長は一日夕刻五龍背より安東著二日安東警務署を巡閱し三日北向せり（安東特電）

●蒙匪軍の其後

側は之れを諜知し此れ巴督軍の探偵にて討伐官軍は不日來著するならん[illegible]兵三百餘名は城を距る十五支里の要[illegible]を納れて租界より一里の地點[illegible]には露國領事は大砲設置の理由を詰[illegible]客歸せず齊參謀は如何ともする能は[illegible]を宣布し[illegible]を要求し[illegible]

○臨時恩賜金豫算

京畿道大正六年度臨時恩賜金歲入出豫算は今回地方費豫算認可と共に道當局にて之が編成を了し認可申請中なるが今其の內容を聞くに歲入出總額十四萬九千八十三圓にして內歲入部臨時恩賜金收入十三萬五千八百六十一圓同地方費繰戾金一萬三千二百二十二圓計十四萬九千八十三圓、歲出部地方費編入十三萬五千八百六十一圓同基金編入一萬三千二百二十二圓合計十四萬九千八十三圓を算せりと云ふ

○京畿葉莨輸移出

本年一月より三月末に至る三箇月間に於ける京畿道葉莨販賣並に輸移出狀況を聞くに朝鮮產內地種莨は概して品質優良なるもの取引行はれ爲めに前期平均値段の十七割の高價を示したるも同一品質のものに對する取引は前期に比し約一割前年同期に比し約二割內外の高値を唱へられたるが這は主として鮮葉及び支那高騰の影響を受けたるに因るもの、如く在來葉は支那葉供給不足の關係上其需要を高め前期に比し一割內外の高値を以て取引を行はれたるが今期間に於ける需給數量は仕入高十八萬四千八百四十六貫前期越高五萬一千九百四十八貫に對する販賣高十四萬五千九百七十三貫價額十五萬一千六百十六圓にして亦本期間に於ける葉莨輸移出額は一萬八千三百二貫價額三萬七千百十三圓なるが右は全部天津に輸出せるものなりと

○中旬荷動狀況

四月中旬鮮鐵荷動狀態を見るに發送噸數六萬三千四百餘噸收入十六萬四千餘圓にて前年同期に比し數量に於て一萬六千五百餘噸收入に於て四萬千八百餘圓を增加せり而して出荷の主なるものを揭ぐれば次の如し

一、石炭二、米三、木材四、鹽五、大豆六、雜穀七、豆粕八、鑛石九、鹽干魚十、肥料十一、木炭

以上の順序にして出荷概況左の如し

石炭、荷動依然旺盛にして主要貨物中第一位にあり平壤鑛業所發無煙炭安東發撫順炭を主とし需要期に遠ざかれるも荷動衰へず

▲米 荷動稍減じたるも鮮國輸出米は依然旺盛にして仁川鎭南浦南大門群山等より元山に廻送されつゝあり

▲木材 前旬と同じく新義州發龍山大田大邱平壤元山著の軍用材料大部分を占め居れり

▲鹽 需要最盛期を過ぎたるも荷動衰へず殊に仁川發再製鹽の出荷活況を呈せり

▲大豆 相場稍弱氣配にて荷動好況を呈し總數三千六百噸の出荷殆んど全部內地移出のものにして釜山打切と直通扱と大約半數宛を示せるは輸送上注意を要す

▲雜穀 黃海道管內より出廻るもの依然好況にて荷動旺盛なるも滿洲粟は銀價の昂騰により本品の相場自然高値を告ぐるに至れるため取引減少せり

▲豆粕 需要期なれば荷動依然好況にして安東發一日平均百六十噸を出荷せり從來內地を主とし鮮鐵等は頗る不振なりしが本旬に入りて二百噸餘の著荷を見るに至れり要之本旬の貨物輸送は前旬に引續き好況にして米に於て稍減退を見たるも他は概ね進捗を示し狀況頗る良好なり

○倫敦行電報 遞信

近來時局關係より英國倫敦に發受する電報著しく增加し爲めに後廻電報の如きは概ね郵送せらるゝ事あるがため通常電報の發受は稍々增加を來すに至れり此の結果今後通常電報と雖も後廻電報同樣郵送するに至るやも計り難きに付將來同地行電報に對しては各郵便局に於て受附の際發信人に對し右の旨を說示の上特に至急を要せざる用件のものにありては可成後廻電報として發送せしむるやう取り計る由

○大豆輸出組合 近く組織成らむ

三井物產、鈴本商店の京城支店並に共益社等有力穀類商店發起の下に近時大豆輸移出組合組織の議あり目下順調に進捗しつゝあるが右組合の內容は輸出大豆の品質統一及び改善不正品の除去並に現品に格差を附する等のため當局に米に類似せる輸移出大豆の檢查實行を求むる事、鐵道局に對し量目不足の如き現品の輸送受附を拒絕されたき事、組合員相互間に相當の規約を設け違反者には制裁を加ふる事等要するに競爭によつて生ずる惡弊を可成除去し朝鮮大豆の聲價を益々揚ぐべしとするにあるもの、如し組合員は鐵道局所定大豆特定運賃の均霑に浴せる者に限る事となす模樣なるが當局にても其趣旨に贊意を表しつゝありと云へば遠からず何等かの形式により現出すべし

○組合費戶別割

京城學校組合費歲入出豫算は既記の如く其の總額二十七萬四千二百七十八圓にして前年豫算より減少せる事三千五百四十四圓を示せるが本年度學校組合總人員は六萬七千三十八人に及び此の總戶數一萬七千六百九十九戶なり內賦課戶數一萬五千七百五十戶賦課人員一萬五千七百五十名にして之を四十等級に分ちたる賦課總金額は十五萬八千百五十二圓餘なり今試みに之を組合總戶數に割當つる時は平均一戶八圓九十三錢強となり賦課戶數に於ける一戶當十圓四錢を算し組合總人員に割當つれば二圓三十五錢強となるなり即ち本年度學校組合費戶別割は賦課人員一萬五千七百五十八人に對する一人平均年額十圓餘を算する事となる譯なりと云ふ因に本年度組合內小學校兒童數は八千百五十五名女學校生徒六百六十五名也

○秋山大將著邱

秋山軍司令官は二日午後四時五分著の列車にて大邱著、大邱驛頭には官民有志多數の出迎を受け直に唯家旅館に入れり（大邱特電）

○三菱殷栗鐵山

鑛區二里四方に亘り富田氏の鐵山と相接し將來非常に有望視せらるゝ三菱の殷栗鐵山は著々事務所新築輕便鐵道布設等に著手し居れるを以て同方面の經濟狀態は一層良好となり居住者日に增加し居れり（平壤）

○西鮮造林發展

西鮮造林合資會社は逐年堅實なる發展を遂げ現在にては約三千町步の栽植地を有せるが同社は此程官有地（江原道所在）五千町步の貸下を申請し居り近く許可せらるべき模樣なるより此の際資金を增大し將來の活動に備へんとの議あり來るべき總會に附議せらるゝ筈なり因に總會の模樣に依りては會社の組織を變更し株式若くは合資株式となすやも知れずと

○京畿三等道路改正

京畿道にては四月二十日告示第十八號を以て管內三等道路の改正を爲したるが其線路左の如し

▲京城麻浦間▲京城漢江津間▲京城舍長浦間▲永登浦江華間▲金浦富平停車場間▲富平舊邑場間▲安停車場安山間▲仁川官橋里間▲仁川水源間▲始興停車場安山間▲水原馬山浦間▲水原發安里間▲發安里平澤間▲平澤溫陽間▲平澤長湖院間▲金良場酒幕里間▲安城西井里間▲竹山鎭川間▲陽智竹山間▲楊平長湖院間▲利川麗州間▲酒幕里清平川間▲京城楊平州間▲楊平楊城間▲清平川抱川間▲抱川永平間▲漣川鐵原間▲漣川長湍停車場間▲汶山停車場麻田間▲長湍朔寧間▲開城江華間▲江華喬桐間▲本町通、木槲橋通、南山通等

○土地臺帳引繼

土地調查局にては調查事業の進捗に伴ひ調查完了せる土地は漸次之を府郡に引繼ぎつゝあるが四月中に於て京畿道水原外一郡忠清南道保寧外二郡全羅南道靈巖外二郡全羅北道南原外一郡黃海道金川外四郡合計十七郡內各島土地臺帳を各郡に引繼を了したりと

○臨床試驗日割

目下施行中なる朝鮮醫術開業試驗第四部即ち臨床試驗は第三部試驗成績發表の後に於て決定發表の筈

○醫師三部試驗問題

一日を以て終了せる朝鮮醫師第三部試驗問題左の如し

▲眼科問題（一）眼瞼緣炎の療法（二）虹彩炎の療法（三）色盲の檢查法▲產科婦人科問題（一）成熟胎兒の徵候を記せ（二）子宮に發生する惡性腫物の名を其の最も多きものより列記せよ（三）骨盤結締織炎（骨盤蜂窩織炎）の狀況を問ふ▲衛生學問題（一）空氣の良否の標準は何を以て之を定むるや（二）水と傳染病との關係に就きて（三）『コレラ』菌携帶者とは如何なるものか並に其の携帶者の處置に就きて

◎光州日報自祝宴

光州日報は今回二千號に達し同時に活字改鑄紙面刷新を機とし來る六日自祝の宴を張る可しと

人事消息

▲松山雅之介氏（總督府參事官）二日夜歸任
▲志賀信光氏（鐵道局參事）同上
▲原修次郎氏（代議士）二日夜入京巴城館へ
▲岩城林造氏（朝鮮皮革監査役）同上山本旅館へ
▲外山石英氏（東亞煙草平壤販賣所主任）同上
▲宇賀原彥氏（朝鮮皮革取締役）一日夜入京山本旅館へ
▲水谷千萬吉氏（平壤鑛業所長）二日夜退京
▲石渡新太郎氏（明治炭坑社長）同上
▲米國觀光團一行十名二日夜入京朝鮮ホテルへ

南言北語

露國皇帝時代の政府は政治犯人は裁判もせずに一切合切西伯利亞に流罪にしたものだ▲だから一度此の罪に引つ懸つたものは一生再び世に出る事が出來なかつた▲今度の革命で其等十萬の囚徒は解放せられたので喜んだも喜ばないもない▲其れツと取る物も取り敢へず本國指して歸つて來るので所々に滑稽劇や悲慘劇が演ぜらるゝ▲トボルスクの牢屋に居た鍛冶屋は何時も罪人の足枷手枷の鎖を嵌める役目であつたから復仇を恐れて何處かへ逃げた▲處が罪人は赦されたが鍛冶屋が居ないから手足の鎖をのける事が出來ぬ▲市中の鍛冶屋は革命騷ぎで之れも何處へ逃げたか分らぬ▲罪人一同北を得ず鎖を引き摺りながら知事官邸へ行つて宴會を開いて露國萬歲をやつたのは滑稽▲罪人中の十九になる美人は他の一人と共に放免されると嬉しまぎれに其儘跳つたが途中で二人とも凍死した▲バイカル湖畔の一寒村に五十人の罪人が居た革命と聞くと一同直に警部の家に押し寄せ▲平生壓制の恨を晴さんとした處が十才になる警部の娘が父を庇つて私を殺せと頑張つた爲警部はやつと助つた▲之れは全くの活動寫眞然として居るが最一とつ奇抜なのはデウサの富豪の息は見窄らしい牢衣の上に立派な毛皮の外套を著て悠々と歸つて來た▲元のイルクツクの知事は下には金モールの制服上には汚い外套を著て居るなんて全くの百鬼夜行だ相な▲一同蘇生した樣な大喜びは尤も千萬

支那遍歷 中島生

西湖の春（六）

杭州概觀

呉山敢て高しとせざるも、登陟の趣は、蓋し湖畔の諸山中隨一となすべし。麓より爪先き上りの細徑を辿れば、直ちに山頭に達す。山中に磊々たる倭石十二有り、玲瓏瘦削、山峰の離立せるが如く、各々其狀を異にし、形象を以て名け、總稱して、巫山十二峰と做す。山頂稍々平かなる處、八卦石に腰打ち掛け、四顧すれば、眺望際涯を知らず。西湖の全景、杭州の街衢は、一萬分一の地圖を延べたる如く、脚下に展開す。碧天四匝、山色遠近、錢塘江の水は悠々として、遙か天際より來りて杭城の傍を過ぎ、布帆と共に更に杳空の彼方に去る。

杭州は、之を地理的に申せば、浙江省の主都にして、錢塘江の下流、大運河の南端に瀕し、西は西湖に臨み遙かに天目の諸山を望み、北は田園一帶、遠く江蘇に連なる。東は運河を以て紹興寧波に通ず。水陸交通の便に富み、氣候溫和、物產饒かに、江南商工業の中心地たり。南宋の都にして、昔は臨安と稱せり。府城は稍長方形を成し、周圍我が六里內外、城壁に十門を設け、呉山の一部を城內に包容す。人口三十五萬とも謂ひ、或は六十萬とも註せらる。物產の主なるものは、生絲、絹織物、茶、藥材、扇等にして殺子、縮緬、紹、紗は此處を本場とす。茶は龍井の名を以て天下に聞ゆ。一年の貿易高は約二千萬兩なりと謂ふ。日本租界は城外二里の拱宸橋といふ所に在り。滬杭、甬鐵路、支線を派して交通に便するあれど、何しろ繁華の市場と距たれる爲め、一向に繁昌せず。在留邦人は百二十名に過ぎず。米國人の百二十名なるに比して甚だ少なしとすべし。

杭州の市街、呉山の上より望むに、市街地として甚だ體裁の整へるが如し。古くより發達し居りしと見え、彼のマルコポーロは、元の時代に此地に遊び當時の歐洲各都市の見窄らしかりしに比較して、杭州を以て壯麗世界に其比を見ずとまで激賞せりと聞く。道案內の董君、遙かに錢塘江の彼方を指しつゝ、曰く、酒を以て有名なる紹興は此の方角也。例の會稽山は其の近くに在りと。素より望見し得べからざる也。追々上海行汽車の發車時間が近づきたれば、山上より最後の一瞥を、西湖の全景に放ちて呉山を下り申候。山を下り乍らも、眼は湖上を離れず。湖畔の楊柳も亦た、春風の前に點頭して恰かも意あるが如し。

石甃數百級を下れば、杭城繁華の巷に入り、早や詩中の人に非ずして、再び俗塵中の人となる。途上再三軒の商家を訪ふて後、停車場に到る。午後二時半の急行列車にて杭州を發す。約七時間も空腹を耐へたれば、車中直ちに行厨を開きてサンドウィツチを貪り食ふ。歸途は格別珍らしき事もなく、七時過ぎ上海北站著、豐陽館に歸り申候。

西湖の探勝は、洵に近來の愉快事なりき。山光水色今なほ眼底に髣髴たり。白居易の詩に曰く。江南憶。最憶是杭州。山寺月中尋桂子。郡亭枕上看潮頭。何日更重遊と。然り、最も憶ふところ是れ杭州、予重ねて此處に遊ぶの時は、そも何の日ぞ。

●南滿の農產額

南滿洲即ち奉天吉林兩省に於ける大正四年の農產物產額左の如し[illegible]

花一七、三三八、〇〇〇斤▲菸葉（葉煙草）九、一二六、〇〇〇斤▲芝麻（胡麻）六九、〇〇〇石▲[illegible]七、〇四〇、〇〇〇斤[illegible]の內遼江の七縣は人煙稀少農產額少なるにより之を省略し又東[illegible]區（全州）[illegible]

資本金五拾七萬五千圓（全部拂込濟）
諸積立金二十四萬百圓
株式會社 朝鮮商業銀行
京城南大門通一丁目
電話五五八番、六八一番 振替京城一六三四番
一般銀行業 倉庫業
銀行長 趙鎭泰
支配人 豐田明敬
南大門支店 電話五四四番 振替一七〇二番
本町支店 電話一五八二番 振替二一九四番
仁川支店 電話八四九番 振替一〇六二番
平澤支店 振替一六〇六番
東大門出張所 電話一八六三

生活

書畫の眞贋鑑別法…中村不折
外に類なき歡樂宮…矢野守香
新陳列場を開いた經驗…商島屋支配人
日本の學國一致內閣顏觸…伯爵
安田家一門の趣味性…莫愁生
一夜泊りの客と滯在客…某旅館の女將
博士號請求者奇譚…佐田九郎
初役の舞臺へ出る迄…松本幸四郎
男の眼が動く角度…高柳生
タクシー自動車運轉手…庚來波
部會生活と宗教…小形養村
貸家の稼ぎ高と滅多に空かぬ貸家
化粧品店を讓り受けた小官吏…迎月子
東京市內拘兒の復活
喜劇「初ご指こ」…小冠者
身體に及ぼす珈琲の害…齋藤三郎
特別記事
五月號 東京本町 博文館

御待兼の大寫眞 內地三都に卒先して京城にて封切り
大阪朝日新聞連載小說 渡邊霞亭氏傑作
新家庭劇 春の海 全五卷 百三十五場
世界的連續大寫眞 大々活劇 第十快漢ロロー 四十卷の內十六、十七編四卷上場
終編に近づきし本編は愈佳境に進む リバチー孃及びロローの運命や如何
日活專屬尾上松之助一派出演
舊劇 小町小濱 全三卷 八十七場
五月五日（土曜と節句）六日（日曜日）は特に晝夜二回開演仕候
本興行 壹等四拾錢、貳等參拾錢、參等拾五錢
三日より開演 大正館

▲下關取米特電
……著し租界交涉…切…方略を商議しつゝありしに匪軍……との交通を遮斷し南北城内樓上に大砲一門、機關銃二挺を据付け騎……其保護を要求したる處同領事は之れ…屆に宗匪飛散の事情を詰問し又一面……意なし』を答へ勝届は逃避して終に未だ報道に接せず（奉天）

▲墨の商内
……

高徳梅と香りて
故東海猷禪禪師の事ども

前妙心寺管長東海猷禪禪師は七十七歳の高齢を以て遷化した、禪師はもと愛知縣の人其の久留米梅林寺の住職となつたのは彼是今から三十餘年前、爾來久留米は勿論

□九州一圓の 信者を敎化したとは非常なものであつた、現に先年梅林寺の庫裡及び耆院建立に當つて普く一般の寄附金を募集した際の如きも十數萬圓の金が一時に集り建物は

□立所に出來 あがつたともある、尤もその時は喜捨を集める雲水の人々は各自人車にも汽車にも乘らず信徒の家に寢泊りしてその炊事から掃除方萬端一手に引うけ喜捨した金は

□鐚一文も費 はぬといふ風であつたから信者の方でも非常に悦んで寄附したといふ話である、由來禪の方では傳燈風のやり方は日常茶飯事であるけれども梅林寺の數へは殊に

□實踐躬行に 重きを置き普通の公案と常住坐臥の行爲とに最も努むるところがあつたからその日常の感化は實に非常なものであつた、また參禪の居士には

□獸聲會と云 ふのがあつて引つゞき十年二十年間修業する人も尠なからず野田大塊翁や前貴族院議員の林田盛隆氏の如きもその一人であつた、また夥多の門弟中には這回

□梅林寺を繼 ぐ東海明禪老師を始め京都建仁寺の武田獸雷老師大分縣佐伯の養賢寺三關寺堂老師並びに博多承天寺の高樹獨鳳老師等の錚々たる人々があり門弟實に

□二千餘人と 稱せられて居た、殊に筑後は禪宗の盛んな土地柄とて禪宗の梅林寺は顧られぬやうに思ふ人もあつたが實際はなか〳〵然らず假りにも九州で梅林寺の老師といへば誰れでもその

□高徳に敬慕 したものであつた、老師はまた三生軒猷禪と號し謠をよくし就中梅が最も得意であつた、梅はまた曾て天覽の榮を擔つたこともある（總督府學務課山路忠夫氏談）

露國大革命畫報（三）　蜜柑箱の急造砲壘

市街戰の第一日即ち露曆二月廿七日（三月十二日）革命軍が砲兵工廠より徴發した、野砲三門をリテーネ橋畔の十九號地先街路の中央に引出し、蜜柑箱を以て急造の砲壘を築き官兵と相對陣した時の砲列である是等は革命後約十日間彈藥箱と共に其塲に存續して萬一に備へた、中央の砲車に翻つて居るのは革命の赤旗で武裝の人物は云ふまでもなく是を護衛しつゝある兵である（小田生）＝三月廿五日ペトログラードにて＝

◉大連に於ける大谷光演法主　歸敬式と親敎

朝鮮巡錫中なりし東本願寺法主大谷光演師は文學博士南條文雄氏外十數名を隨へ二日午前八時大連著門徒佛敎青年會、關東婦人會其他多數の出迎を受け馬車にて大和ホテルに入りしが來連前安奉列車にて滿洲の俳人の訪問を受け共に『柳』の作句を爲せり二日光演師は大連市中及び沙河口工塲を視察し三日及び五日午前午後に渉りて歸敬式並に親敎を爲すべく若狹町の東本願寺別院は非常の盛況なり猶光演師は三日滿鐵讀書會に於て一印の講演を爲す筈なり（大連特電）

◉宮崎縣選擧違反事件擴大

宮崎縣南那珂郡に於ける選擧法違反事件は益々擴大し松浦派は千二百名肥田派は四百名以上の有權者取調べを受けたり（大阪特電）

◉在日獨逸人の電信法違反

兵庫縣武庫郡住吉村獨逸人ヘルマンは二日電信法違反として家宅搜索を受けたり（大阪特電）

◉大阪訪問飛行　スミス氏の妙技

スミス氏は二日朝鳴尾より大阪市訪問飛行を爲し市返りの妙技を演じて練兵塲に著陸せり猶同夜は夜間飛行を爲すべし（大阪特電）

◉マーマレード成功

總督府中央試驗所にては這回マーマレードの製造に成功しいよ〳〵此の五月下旬から製品を賣り出すことゝ決定した、マーマレードは從來苦味あるジヤムとして日本人には好まれぬものなれどこれをパンにつけて喰べると一種の香味があつて苦味は却つて口中を爽かならしむるもので或る外國人がその苦味を嗜好するのは一面衞生上からも割り出されたことでマーマレードが消化を助けることも人の知るところである、マーマレードは主に酸味多き夏橙その他の柑橘類から造る、京城では内地から移入した柑橘類が多いのでこれからは外國輸出も出來るだらうといふ中央試驗塲の製造高は一月に約四五千罐原價十錢、卸値十八錢内外小賣廿五六錢の見當なりと

◉怪しい承諾書　兄のために苦界に身を沈めんとす

本籍神戸市湊町與田豐吉の妹いくゑ（二八）は幼き頃父親に死別れ母親の手にて養育されしがいくゑは生れ付き眉目好く十五歳の時同地福原に藝者として僅かの金にて身を沈めしに大正五年七月前借九百圓の身の代にて全北全州の料理店中村こなつ方へ轉賣せられ同店にて藝者として稼業中此程兄の豐吉より金子入用の旨申越したるも藝者としては此上の借金も覺束なければ一層のこと娼妓となれば前借も多く借り得べしと釜山遊廓綠町一丁目貸座敷日韓樓へ前借千二百圓にて娼妓として鞍替すべく實母みと及び兄豐吉の承諾書を添へ源氏名を初音と名乘り娼妓營業の許可願を其筋に差出したるより早速原籍地たる神戸相生署に身元並びに實母及び戸主の承諾書を照會せしに同署よりの回答に據れば前記の戸籍面には在籍せる實母及び戸主豐吉は久しき以前に何れへか轉居し所在不明なりとのことなるより釜山警察署にては承諾書の眞否明白ならでは許可し難しとて願書留置中なるが小娘を喰ひ物とする徒輩の奸策にはあらざるかと目下取調べ中（釜山）

◉山中にて變死

光州地方法院求禮出張所書記柿本壓吉は豫て不快なりしが去る二十一日受診の爲め俥にて順天邑内に行き二十二日歸宅の筈なりしに同日車夫のみ歸來し同人の言に松峙に天……柿本書記は順天郡邑内に引還したりとの事なるより電話にて順天の病院に照合せしも判明せず家人を初め友人等は八方手分けして搜索中二十四日朝松峙山中に死體となり居るを發見したるが原因不明にて引續き取調べ中

故猷禪老師の筆蹟

◉漢口の火災

四月卅日漢口のヂヤーデン、マアイソン商會の大倉庫二棟燒失せり（北京特電）

◉洋燈から出火

京城齋洞下宿屋金元培方止宿學生吳元鍋（二〇）は二十九日午後十時半頃洋燈に點火したる儘にて外出中發火し夜具書籍等大部分を燒失して天井裏に延燒したる際家人が發見して消止む損害約十圓

◉出來心

京城北米倉町貴文秀方抱娼妓白順伊（二〇）は二十八日夜遊興したる黄金町三丁目坂田半次郎が歸宅の際遺失したる現金五十五圓入りの財布一個を隱匿横領し内四十四圓は水標町の檢査塲なる西村とめに預け他は消費したること發覺し順伊は本町警察署に引致取調べの上裁判所に送らる

◉安東赤字總會

日本赤十字社安東委員部第六回社員總會竝に篤志看護婦人會安東分會總會式は四月三十日午後一時より安東驛前の廣場に於て舉行されたり定刻田村支部長各役員社員等に來賓一同着席するや……殿下の御寫影を拜し次に君が代の奏樂あり終つて田村支部長の式辭、篤志看護婦人會安東分會長田村已代子の發會式辭、安東支部四宮主事の社業報告、白仁滿洲委員總長の告辭（代讀）社員總代中野初太郎氏の祝詞朗讀等あり次に特志寄附者五十餘名に對する表彰を行ひ同三時二十分式を閉ぢ田村支部長の發聲にて安東支部萬歲を三唱して祝宴に移り同四時十分閉會なしたるが當日の參列者無慮二千餘名に上り空前の盛況を極めたり（安東縣）

◉活獵の衣類で遊興

長崎市中新町生れの石橋松藏（二二）は京城南大門通り五丁目京城旅館に客引として雇はれ中四月十八日釜山西町二丁目居住活動寫眞館蓬萊館活動辯士日東勘平事西澤小三郎より黑紋付羽織外三點の入質方を依賴され一應三十圓に入質したるも其後小三郎より元利金として三十二圓送附し來れるよ

◉青木折造氏逝く

高等普通學校敎諭青木折造氏は二十九日逝去せり氏は山梨縣南八代郡上野村の人當年二十九歳創立當時の敎育家にして勤勉と誠實とは彼の全生命ともいふべく大正四年七月京城高等普通學校に赴任す人は此の……に努め……生徒の敎養に……其努力の……四月二十一日……に遊び……同校……せしが……に加はり……に渉り……し葬儀は……町二丁目メソヂスト敎會に於て三日午後四時半執行すと

◉行路病人救護費へ寄附

京城佛敎慈濟會にては既報の如く行路病人救護所を龍山青坡に新設する事となりたるが此れに對し南山町官舍山下英男氏は亡妻香典返しとして金十圓を右行路病人救護費に寄附したりと

◉京城青年會夜學校

同校にては月羽合語科新設米中と雖も敎師は益々協力一致して其の發達を期すべく外人敎師ルーカス氏及びクーンス氏は内地人敎師と共に一層實用的英語敎授を爲し更に北米加州大學出身にして總督府嘱託たる今村重藏氏も新たに出席敎授する事となれり尚同會内の英語倶樂部は毎週金曜午後八時より開催し益なる會合を爲しつゝありしが今週の指導者はスミス師なり而して鮮語部は堪能なる敎師に依り三ヶ月修業の計畫にて毎月新入生を募り益々發展の域に進みつゝあり

◉自轉車泥棒

長崎縣南高來郡多比良村生れ神崎儀市長男伊達秀雄（二八）は四月二十一日京城より流れ來り市中を徘徊中同日午後二時頃平壤水王里守田唆一方店頭に立て掛けありし自轉車一輛價二十圓餘りの物を盜み南門町二丁目自轉車販賣業金某に賣付けんとする處を平壤署の刑事に取押へられ取調べの上四月二十八日平壤地方檢事局送りとなる

◉溺死體を發見す

肥後天草生れ雜流網漁船夫水田善吉が去る二十七日早朝釜山に向はんと航行中東萊郡沿岸南半島沖合にて鮮人男の溺死體を發見したるより漁船に引揚げ釜山に入船し其旨水上警察派出所へ屆出でたるが死後一週間を經過したるものゝ如く何れの者とも判明せざるより檢視の上釜山府廳に引渡し假埋葬に附したりと（釜山）

▲大正館　三日よりいよ〳〵特別興行として新寫眞と全部差替ゐる由右の内「春の海」は五枚には立花貞二郎が扮し頗る濃艶なところを見せる由その主なるもの左の如し

▲黄金館　二日より新寫眞と差替ゐたりその主なるもの左の如し……

▲浪花館　……東京大阪商談安萬亭一行に開演中

◎化學工業用藥品
◎鑛山用品器具
◎ネオネオアーセミン代理店
京城明治町二丁目
嶋久商店
電話一四四四番

大阪梅田阪神電車前
製造元　電明社
特約店希望カタログ進呈
電話北七三……

朝鮮總督府
一、印刷用紙別添麥外十種
一、舶來クロース壹百本
右購買ス（全部ヲ通シテ入札シ得サル者ハ一部ヲ限リ入札スルコトヲ得）
詳細ハ五月二日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府
一、紙府壹ヶ年産額約壹千貫萬五匁
右拂下ク詳細ハ五月二日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

法人登記公告
松禾地方金融組合監事任期滿了ニ付大正六年四月貳拾五日左記ノ者當選就任ス
松禾郡藥山面茂堂里五統六戸　崔淳祚
同郡蓮井面馬山里壹統五戸　崔鴻達
同郡藥山面邑内里貳統壹戸　孫致洛
右大正六年四月參拾日登記
長淵地方金融組合出資總口數ヲ參百七拾九口拂込ミタル出資總額ヲ金九百五拾八圓四拾六錢ニ變更ス
右大正六年四月參拾日登記
海州地方法院松禾支廳

夏物紺セル洋服賣出
鐵道拂下品
一等　上下三組三圓八十錢
二等　同　二圓八十錢
三等　同　一圓五十錢
其他軍隊拂下品各種和洋古着類荷揃
右例年通り特別廉價販賣
和服洋服商　龍山元町二丁目　金子奥市商店
電話一百〇五番　振替京城三八一三番

秘密ヲ守リ丁寧ニ精々高價御預リ可申候也
櫻谷質舖
京城北米倉町三六（南大門通前小路）電話二八五四番

松丸太各種荷揃
龍山印刷局前（電話五二一番）
竹村材木店

朝鮮總督府高等普通學校講師西村眞太郎著
朝鮮語會話　第四版
定價金八拾錢　郵税四錢
受驗者必携の資料袖珍總クロース四百餘頁頗美本
本書は第二版に於て動詞形容詞の大增補を行ひ嘖々たる好評を博し偉大なる賣行を示したり爾來三版は瞬く裏に賣盡したるを以て茲に更に大々的增補を斷行し副詞の適譯百種及最近試驗問題解等を載せて愈々第四版を發賣するに至れり是非速に一本を机上に備へて愛讀せられんことを希ふ
賣捌所　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部
取次所　大阪屋號、巖松堂、京日各支局

買鑛廣告
金、銀、鉛、亞鉛、銅鑛買入開始
荷受塲所は京釜線鷲梁津驛
鉛亞鉛鑛は混合又は低級品位のものも取扱可申候
京城本町二丁目
神戸　合名會社鈴木商店
京城出張所鑛業部
電話一四二三番　二二九〇番　二九二四番

婦人公論
父母の膝下を離れ初めて上京せる女學生へ……下田女子高師敎授
女子墮落の眞因……浮田博士
端午珍說……（巖谷小波）（口繪現代女風俗）
金魚の話（白木正光）■菖蒲の話（廣田花崖）■藝術的揷畫……五頁
露西亞革命の話（長瀬鳳輔）
心理研究夢の話（夢の知らせ夢のお告げ）（福來博士）
情の研究■情死に就て（高島平三郎）
■情死の根を絕つには……本間久雄
死の研究■文學に表れたる情死……近松秋江
（小說）秘めたる戀……德田秋聲
蹂躪られて……正宗白鳥
春宵記……小内山薫
趣味の算術（中村八郎）
入梅が來る……それ迄にしておかねばならぬ主婦の注意（櫻田節翁）
赤毛曲毛の療法（古川美髮校長）
時事畫報……一ヶ月の出來事を寫眞で報道す
家庭科學輻射熱の話（日に燒けぬ傘日おほひの話）（近藤敎授）
新お伽噺鼠のお馬（鈴木三重吉）
母としての一年（新しい女の驗一と目せられたる女史の母となりての尊き經驗！）（平塚明子）
定價廿三錢郵送一錢半
東京市本鄕區西片町十番地　振替東京三十四番
中央公論社

攝津灘
大塚釀造所吟製
金露
京城本町二丁目
一手賣元　前田酒店
電話一三七番　振替口座四二五番

五月限　一萬千六百五十石……道の突泉鵬樞旗東と吉林省吉長迄全滅せり……

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

百五十三

危險の親み『三十』の二

「妾も多分左樣な事ではあるまいか知らと存じましたので、つい御容子を伺ひに參つたので御座います。お寂みの儘で闘ひませんから、情願島渡お目に寛らして頂きたう御座います。あの……袖が參つたと仰有つて下されば分りになりますで御座いますから……。」

掃溜に鶴の比喩もあるが、此の穢しい陋屋へ、此のやうな綺羅びやかな美しい婦人が訪ねて來ると云ふのは、眞個前代未聞の出來事なので、老母は益々返答にまごつくばかりで

あつた。襖一重の此方に聞き耳を欹て居たる幸三郎は、詮事なしに兵古帶を締直して、熱の苦みを堪へつゝ御ひずるやうに其處へ出て來た。

「いや、病氣と申しましても、それ程の事はないんで御座います。失禮では御座いますが、何卒お通り下さい。」

「オッ、然う仰有るのは、倉橋さんで御座いますね。兎も角も鳥渡お邪魔をさして頂きます。」と、袖子は、被布を脱ぎながら内へ上つた。

「倉橋さん、まあそんな御遠慮を爲さらずにお寢みになつて下さいまし。あの、此方がお噂さに承はつとりました阿母さまでお在なんで御座いますね。夜中遲く飛んだお妨げを致しまして、申譯が御座いません。何か調へて參るべき筈で御座いましたが、突然お伺ひ致しましたもんですからつい……。」

「いゝえ、それどころでは御座いません。我儕此の上もない倖が、日々參じましては、何から何まで御厄介に預りますさうで、お禮の申しやうも御座いません。」

「ほ、ほ、ほお話で恐れ入ります。」と、袖子は流石世間馴れたものであつた。

「それは然うと倉橋さん、貴郎昨日の日暮には什うなすつてお了ひになつたの。花見臺で休息してお在になる事とばかし思つて、安心して居ましたのに、何時まで過ぎても姿をお見せにならないんですもの。家中掛つて何の位お探し爲たか知れや爲ませんのよ。そして加之に、今日一日非常に心配してお待ちしましたけれども、更に音沙汰がお有りなさらないんでせう。まあ、斯うしてお目に寛つて見れば、御病氣と云ふ事が分つたやうなもんですけれどもね……それでも貴郎、お使ひなり葉書なりで知らせて下さる間もなかつたんでせうか。」

老母は、不時の珍客をもてなすべく茶菓子でも買はうと云ふ心か、狐鼠々々と勝手口の方から出て行つた後で、袖子は怨ずるやうに小膝を進めながら口早に言つたのである。

「奥樣、何とも濟みませんでした。實は、彼の時意外なる事件が持上がつて了ひましたんで……お母にもまだ一切内所なんで御座いますが……」と、言ひかけて幸三郎は、狹い室内をぐるぐる見廻はしたが、

「孰れ詳しい事は追てお話しますが、彼の時葉櫻の蔭で、奥樣と僕との談話を竊聞きしとつた奴は、何時ぞや向島で僕を轢き倒した運轉手の塚本なんです。」

「まあ、然うなんでしたか。妾又黒川の老爺でゞもあるか知らんと思つてましたが……それは思ひの外わるい奴に聞かれたもんですわね。けれども倉橋さん、別段不都合な事を話し合つて居た譯ぢやないんですから驚くには當らんぢや御座いませんか。」

「所がです。彼奴は餘程の危險人物ですから、何時彼の事を種にして、貴女に難題を持ちかけ、危險を加へないとは限りませんから、注意をなさらんと大變で御座いますよ。」

幸三郎は、前日の經驗に依て、眞劍に注意を與へたのである。

「では、貴郎と、妾とで、怪しい關係でもあるかのやうに、彼の男は解釋しとるんでせうかね。」

「解釋しとるどころではありません、然う勝手に取極めて居るらしいんです。僕の急病と云ふのも、實はその事から二つ言ひ三つ爭ひを言ひ募つた結果、大人もない大格闘を始めて了つたんです。固より腕力となつては彼等に及ばう筈はありませんから、大仰に言へば半死半生の目に遭はされたのはまだしも、彼のお花見臺の欄杆が壞れて、僕の身體は、崖下の墓地内へ轉げ墜ちると云ふ不體裁極まつた終末を告げたんで御座いますよ。」

「そりやまた何と云ふ災難でしたらうね。道理こそ貴郎の姿が突然屋敷内に見ねなくお成りだと思ひましたが……」と、袖子は、今更の如く胸を躍かしたのである。此の時恰度老母ががたことゝ歸つて來たらしい氣色が爲したので二人は少時談話を途切らす。

名刺　京城　太平堂　電話二七一二番　振京二三六七番

純參精　△十日分金八十錢　△二十日分金一圓五十錢　△三十日分金二圓二十錢　△六十日分金四圓　△九十日分金五圓五十錢　今回東本願寺法主猊下御巡錫の際御旅行用として御用命の榮を得たり　市内は電話にて御申越次第直に御届可申上候　京城黄金町四ノ一〇一　高麗人參製劑所　電話二五九九番　振替京城一四三六番

□日本最初の婦人博士

黒田ちか子牧田らく子兩女史が昨年夏東北理科大學を出て日本最初の婦人理學士となつた事は人の知るところである其内黒田女史は今も同大學の大學院に入つて化學を專修してゐるが廿八日上京した同大學總長北條時敬氏は女史に就て——化學と云ふやうな最も困難な基礎學に對して女史は研究に熱心なばかりでなく非常に、よく出來て實驗の如き手先を要する事には獨得の妙技を有つてゐる大學院の修了は三年の期間であるが從來の成績によると此期間を終つたならば大學教授會は女史を博士に推薦するであらうと思ふ……と語つた日本婦人の博士が出來るとすれば女史は其最初の人であらうと期待されてゐるのである

□湖南吟社臨時小集

永同の江尻江月氏（京城へ轉任）の來遊を好機として四月二十二日夜松年庵にて開會こんどは豚の脂濃き珍味なかりしも倒る、迄和氣藹々なりしぞ

井戸替や神魚をうつす大盥　江月
輕ふ繰る神の車井替へし昔　十雨
晒替へて注連新らたな神の井戸　桃水
晒井や降は五町貰ひ水　西波
井晒やふやけし飯の底溜　千里
前金ねだる酒の機嫌や井戸晒　月京
井晒らに人足も二度布令に來る男　中宵
怪異古りし昔の井の晒されし　待亭
井晒や濡身の襞に佛畠　十骨
風
蚤叱る祖母蚤に大きな眼鏡　春三女
足につく空家掃除の埃蚤　待宵
師の坊の或夜蚤取眼かな　桃雨
藥肆觜に蚤取粉ビラの新らしき　鐵
蚤逃げて猶二たゝび寢の醒め醉　花陵
頬杖の書に倦むころや蚤騷ぐ　青葉
疊算まぎらす蚤を憎みけり　中京
飛ぶ蚤のあと／＼疊押す指　風骨
牛耳洞の花信に君の後れ馳せ　（公州の友澤兄に謝す）　同
浮草の友としなくて爽らん　（江月兄を送る）　同

新刊紹介

▲投入盛花寫眞百瓶（小林鷺洲著）本書の特色は其の實體寫眞が双眼寫眞機を以て撮影したるもので從來普通寫眞機の弊として陷り易き十文字又くらべ葉のかさなり等挿花禁忌の缺點を除去し得たる點にあり應用の範圍は床飾、應接室、廣壇等にも及ぶものなれば斯道數寄者並に研究者の爲め好資料たるべし（一圓五十錢東京神田三崎町三書文館）

▲資金增殖學（經濟調査會編）株式、土地、家屋に投資するは資金增殖上最良の策なりとする者にして特に株式投資の部に於ては一圓千金を夢想する者流を戒めたる點に現物投資の有利なる所以を論じて敢て可ならず一讀せらるべき好著なり（一圓五十錢東京神田三崎町三書文館）

▲現代俳畫集（秋之部）巖谷小波のさゝ浪、中村不折の二ホ、小川芋錢の越酒、平福百穗の野分、川端龍子等現代代表的俳人畫家三十名が各一題を選擇して揮毫せり俳味津々として十七字の天地に横溢す蓋し俳畫集の上乘なるもの（二圓東京神田一ツ橋通町七俳畫堂）

▲八千代集（岡田八千代作）現代女流作家中文壇に最も長き生命を保てる著者の短篇集なり醉へる所の鋭きは著者が自ら稱する如く女性を主人公とせる點に於て女流作家としての著者に負ふ所少なからず（一圓二十錢東京日本橋通二の一二須原屋書店）

▲新家庭（五月號）德田秋聲、バラツルの石版十二色口繪を初め三色版オフセツト版及び名流家庭の寫眞數十葉を卷頭に配し主に家庭の性格に及ぼす影響（鈴木三重吉）、放任主義か干渉か（深柳直木）等の論文外なる小說、佛子の袋情（下田歌子）、女が外で働く可否なる題下の數婦人の說等の好文字あり長田幹彦の秘みれば、北島春石の顧問等の小說も面白く猶愈趣味ある新式料理、家庭衛生、婦人衛生などの記事あり（二十錢東京京橋區加賀町二十二）

▲婦人之友（五月號）三宅博士の夫婦の仲は世話人情に依る相對的な一致を得る（木下尚江）、九婦人の手に成る夫婦の手紙的な問題は何れも夫婦生活に對する痛切なる實驗の告白にて一々羽仁氏其の批評を添へたり其他依例實際的記事の豐富なるは本誌の特色なり（二十錢東京府雜司ヶ谷上り屋敷自由學園）

▲料理の友（五月號）飾り家庭實驗集一羽で四人前の料理、京料理、乾物料理六種の作り方と豆腐の水切等其他數十種（二十錢東京日本橋區旅籠町大日本料理研究會）

▲青年文壇（五月號）二十五大家の眞作詩歌と會心の作及び晩村、抱月、臨風等の近作北斯の新小說作法其他内容充實せるを見る（十五錢東京牛込神樂町二の一東亞堂）

京城府公文

京城府告示第十一號

大正六年度京城府歳入歳出豫算左ノ如シ

大正六年五月三日　朝鮮總督府京城府尹　金谷充

大正六年度京城府歳入歳出豫算

歳入
一金參拾四萬七百四拾五圓　經常部豫算高
一金貳萬八千四百拾五圓　臨時部豫算高
合計金參拾六萬九千百六拾圓

歳出
一金參拾萬五千六百五拾五圓　經常部豫算高
一金六萬參千五百五圓　臨時部豫算高
合計金參拾六萬九千百六拾圓

歳入歳出差引殘金ナシ

歳入經常部
第一款　府稅　金貳拾四萬九千八百拾貳圓
第一項　市街地稅附加稅　金四萬五千圓
第二項　家屋稅附加稅　金貳萬七千圓
第三項　特別戸別稅　金貳萬六千貳百九拾參圓
第四項　營業稅　金八萬五千八百參拾參圓
第五項　電柱稅　金四千參百四圓
第六項　雜種稅　金六萬壹千參百八拾貳圓
第二款　使用料及手數料　金四萬七千九百八拾四圓
第一項　道路使用料　金貳百六拾壹圓
第二項　傳染病院使用料　金七千八百參拾參圓
第三項　墓地使用料　金參千五百參拾壹圓
第四項　火葬場使用料　金五千百拾九圓
第五項　屠獸場使用料　金貳萬四千九百參拾參圓
第六項　督促手數料　金參千七百參拾六圓
第七項　證明手數料　金千五百貳拾壹圓
第八項　鑑札及檢印手數料　金五拾圓
第三款　交附金　金參千四百四拾圓
第一項　國稅交附金　金參千貳百九拾圓
第二項　地方費交附金　金百拾七圓
第三項　國有地小作料交附金　金參拾參圓
第四款　財產ヨリ生スル收入　金四拾四圓
第一項　基本財產收入　金四拾四圓
第五款　雜收入　金參萬九千四百六拾五圓
第一項　物品賣却代　金貳萬千四百參拾圓
第二項　辨償金　[illegible]
第三項　報償金　[illegible]
第四項　運用利子　[illegible]
第五項　雜入　[illegible]
歳入經常部計　金參拾四萬七百四拾五圓
歳入臨時部
第一款　繰越金　金參百圓
第二款　國庫補助金　[illegible]
第三款　地方費補助金　[illegible]
第四款　寄附金　[illegible]
第五款　過年度收入　金六百六拾五圓
第六款　土地賣却代　金千圓
歳入臨時部計　金貳萬八千四百拾五圓
歳入合計　金參拾六萬九千百六拾圓
歳出經常部
第一款　役所費　[illegible]
第一項　給料　[illegible]
第二項　雜給　[illegible]
第三項　需用費　[illegible]
第四項　修繕費　[illegible]
第五項　旅費　[illegible]
第六項　府協議會費　[illegible]
第七項　徴稅費　[illegible]
第八項　營繕費　[illegible]
第九項　公告諸費　金七百貳拾圓
第十項　修繕費　金參拾五圓
第十一項　雜費　金七百拾圓
第二款　土木費　金參萬八千八百五拾七圓
第一項　道路橋梁費　金參萬七千七百五拾五圓
第二項　溝渠費　金六百貳拾七圓
第三項　測量費　金四百七拾五圓
第三款　傳染病豫防費　金參千五百四圓
第一項　雜給　金貳千四百貳拾參圓
第二項　需用費　金貳百六圓
第三項　種痘費　金八百七拾五圓
第四款　傳染病院費　金壹萬八千七拾九圓
第一項　給料　金貳千百拾貳圓
第二項　雜給　金四千百七拾參圓
第三項　需用費　金壹萬千百九拾四圓
第四項　修繕費　金六百圓
第五款　汚物掃除費　[illegible]
第一項　雜給　[illegible]
第二項　需用費　[illegible]
第三項　物件費　[illegible]
第四項　修繕費　[illegible]
第五項　道路撒水費　金壹萬四千參百六拾圓
第六項　蠅驅除費　金貳千五百圓
第七項　修繕費　金八百六拾圓
第八項　雜費　金千百參拾壹圓
第六款　屠獸場費　金六千五百六拾貳圓
第一項　雜給　金參千八百七拾九圓
第二項　需用費　金貳千五百參拾參圓
第三項　修繕費　金百圓
第四項　雜費　金五拾圓
第七款　墓地及火葬場費　金四千百九拾貳圓
第一項　墓地費　金千九拾參圓
第二項　火葬場費　金參千七百九拾九圓
第八款　公園費　金貳千參百五拾壹圓
第九款　救助費　金九千九百七拾七圓
第一項　窮民救助費　金參百圓
第二項　行旅病死人諸費　金九千六百七拾七圓
第十款　警備費　金壹萬四千四百拾七圓
第一項　雜給　金九千八百九拾貳圓
第二項　需用費　金參千八百拾七圓
第三項　修繕費　[illegible]
歳出臨時部
第一款　土木費　[illegible]
第二款　市場設備費　[illegible]
第三款　府債費　[illegible]
第四款　公園改修費　[illegible]
第五款　汚物掃除設備費　[illegible]
第六款　墓地擴張費　[illegible]
第七款　下水改修費　[illegible]
第八款　市場設備費　金五千圓
第九款　府債費　金壹萬圓

京日案内
普通　一回前金五十錢　番外　一回前金一圓（但名一圓毎に拾錢增し）
▲申込後中途掲載中止の節は前金返戻せず　▲六圓以上の御申込は特に割引　▲御照會は返信附にあらざれば回答せず　▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通
社員急募　日鮮人外交手腕家有給採用要保證人履歷書携帶本人來談の事　黄金町二丁目角朝鮮研究會出版部　52
見習看護婦至急入用希望者は履歷書携帶來談あれ　仁川小倉病院　54
店員入用　身體壯健にして二十歳内外保證人を要す　京城旭町一丁目　川西食料品店　58
電話三〇〇五番讓渡したし御希望の方は電話三〇〇五番へ　59
店員並見習募集　普通教育を受たる者履歷書送れ證人を要す　仁川　白神洋行　61
顧客本位の裁縫と特色の價額に　京城黄金町三日新商行は電話一九〇三　57
ブラシ製造機械屬品附至急買度（姓名在社）

番外
代診藥局生並に看護婦至急入用希望者は履歷書携帶來談あれ　仁川宮町　松本病院　46
有給外務員採用三十歳以上午前來談　京城明治町一丁目四六　東京國債朝鮮支部　56
恩給年金立替即時取引退隱料一切千圓以上別契約　京城櫻井町（大正館向）元祖　博多屋本店　45
恩給年金即時立替短期無保險取扱確實也　京城南大門外御成町西鮮支店京義線沙里院　山口屋　廣川商店　60
鑛物各種分析　京城大平町二ノ二（電三八〇三）松永分析所　29
ヴァイオリンピアノオルガン買入弁御不用あれ方は御持參　大和町一ノ三一杉野樂器店　44
恩給年金最即時立替長期低利保險不要確實融通　京城永樂町一商品陳列館前　金額立替並錢兩替　江州屋本店　16

最新刊
著者　定價
大字典　上田萬年外四博士　五、五〇
詳解漢和大字典　服部、小柳　二、〇〇
現代の文犯と法律　牧野英一　一、二〇
露國政界の表裏　山川　一、九〇
海外發展と我國の敎育　永田　一、七五
書翰文大觀　內海　月枝　九〇
職員錄（大正六年一月現在朝鮮總督府及所屬官署）　總督府編　五、五〇
大正六年一月現在鑛區一覽　同　四、〇〇
草書の書方　齊藤　松村　六、五〇
槪世餘言　六谷　光瑞　三、五〇
文學趣味養成論　井上　桂　一、五〇
事實小說緋桃白桃　米山　露花　一、〇〇
人の情　小栗　風葉　八〇
梅鉢草　正宗　白鳥　九〇
毒草（疑獄の卷）　菊池　幽芳　一、一〇
京城本町一丁目　電話六一六番　振替京城二五七三番　大阪屋號書店

時計貴金屬指輪眼鏡商
地方の御注文は代金引換にて送る

京城本町二丁目　京城鐵道指定　三浦天龍堂　電話一〇二〇番　振替京城三〇四番

京城家具數多　京城本町三丁目　増田本店　振替京城一〇六五

▲書籍案內▼
民友社發行　女義士傳　郵價八〇五
村上浪六後編　稻田一作　郵價七〇八
桃川如燕　名婦傳　郵價六〇五
早川貞水赤穗　義士傳　各郵價五八六
松林伯知　御前講談　各郵價二五〇
桃川如燕　理想の家庭　各郵價四〇〇
國民新聞社編　世界古今名婦鑑　郵價二〇〇
德富蘆花著　俳諧師　郵價一〇二〇
高濱虛子　新俳句　郵價四六〇
正岡子規監修
京城日報代理部（振替京城三〇）

金泉醴泉間自動車時間
上り　金泉發　前八、〇〇　後一、〇〇　下り　醴泉發　前八、〇〇　後二、〇〇
小荷物取扱仕候
金泉自動車支部　電話四八番

大邱浦項間自動車時間
大邱發浦項行　上り一番　前八、〇〇　二番　後一、〇〇
浦項發大邱行　下り一番　前七、〇〇　二番　後一、三〇
大塚農場自動車所　大邱出張部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○神戸丸　五月十三日後四時出帆
○秀吉丸　五月十五日後四時出帆
○君が代丸　五月　日後四時出帆
○大有丸　五月十五日後四時出帆
仁川海岸通　杉回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連行、太沽（天津）牛莊行
相模丸　五月　日未明出帆
三河丸　五月十二日正午出帆
仁川海岸町　堀回漕部

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行　和歌浦丸　五月十七日後五時出帆
立神丸　五月十八日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行　和歌浦丸　五月十七日後十時出帆
立神丸　五月十八日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行　第三平安丸　五月六日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　毎月二日、九日十四日午後十時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天草丸　日廿一日廿六日　大池回漕部

日朝鮮郵船出帆
江原丸　五月十二日　釜山發
京畿丸　五月四日　釜山發
黄海丸　五月八日　釜山發
成鏡丸　五月十九日　釜山發
稷城丸　五月九日　元山發
昌平丸　五月　日
鏡城丸　五月三日　元山發
昌平丸　五月　日　元山發
盈德丸　五月四日　釜山發
江陵丸　毎日　釜山發
漢陽丸　毎日　浦項發
三浦丸　五月六日　釜山發
海州丸　毎日　釜山發
統營丸　巨濟丸　慶寶丸　釜山發
平康丸　五月四日　元山發
順天丸　三日目毎　木浦發
慶興丸　五月六日　木浦發
慶興丸　五月三日　木浦發
公州丸　五月八日　木浦發
麗水丸　五月四日　仁川發
晋州丸　五月八日　仁川發
宗信丸　五月　日　仁川發
麗水丸　五月　日　仁川發
晋州丸　五月　日　仁川發
全南丸　毎日午前　仁川發
京城南大門通　松原運送店
切符發賣所　仁川京城通り　朝鮮郵船會社仁川支店

大阪商船仁川出帆
○外航船所屬航路（大連航路を除く）同連絡船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
×○關門、神戸、大阪行　五月十四日後五時出帆
×汕頭丸　五月十一日後五時出帆
南部丸　五月　日後五時出帆
南浦、群山、神戸、大阪行　五月七日後五時出帆
須磨丸　五月七日後五時出帆
○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行　五月二十日後二時出帆
安東丸　五月二十日後二時出帆
安東丸　五月　日後二時出帆
濟州丸　五月廿五日後二時出帆
福州丸　五月廿一日後二時出帆
△×釜山、橫濱行
濟州丸　五月四日後二時出帆
鎭南浦、大連行
安東丸　五月十五日後二時出帆
安東丸　六月一日後二時出帆
大連直航　濟州丸　五月二十日正午出帆
濟州丸　五月廿六日正午出帆
○鎭南浦行　汕頭丸　五月十二日正午出帆
須磨丸　五月十八日正午出帆
西湖津新浦城津淸津行（元山出帆）
安平丸　五月十一日後十二時出帆
淸津行（元山出帆）
宮島丸　五月十七日後十二時出帆
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸　五月十八日後六時出帆
御注意　●印は朝鮮總督府命令航路にして船舶郵便物取扱仕候
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店
切符發賣所　内國通運會社京城支店
仁川代理店　京城本町四丁目　野口商會　京城取次店　河村運送店

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行
會下山丸　五月二日午後入港　五月四日正午出帆
阿波共同汽船株式會社

商況

大阪期米（二日後場）

二日後場　後場寄節さ値段關係にて不通

	寄付	高値	安値	引値
	一六、三五	一六、三五	一六、三四	大引
	一六、七〇	一六、七一	一六、七〇	一六、七一
	一七、二二	一七、二五	一七、二三	一七、三三

前場中十三圓十三錢より四錢と揚げ一錢と押し更に返したるも一錢と押して引先十三圓五十四錢と二錢高に寄付たるも賣物多く六錢と進みたるが高値は又賣物多く三錢と押し三四錢た揉み合たるが大阪止十七圓九十八錢との報りに二錢と押して保合の押し放合

▲後場の手振　重なる前内買方●五千餘石●四千餘石今三千餘石●●●の●●二十餘石●千餘石等に對し賣方●六千餘石●●各四千餘石今三千餘石●●各二千餘石●●●千餘石●他は小口筋内であつた數四千餘石に上りたりとの事

▲今の圏內　後場同店より賣りたる玉數三千餘石上りたりとの事

▲在庫品調査　仁川穀物協會の調査に係る四月三十日在庫品の數量は前回より増加したる者粟百五十三叭玄米一萬二千五百六十俵等にして減少したる者玄米一萬九千八百六十四叭白米二千六百〇九叭大豆五千三百九十八叭小豆二千二百六十叭小麥九百七十四叭其外二百九十五叭粉米五百二十九叭糯米百叭等である

十二日　九十八錢　平均値段メ一錢三十五錢　均値段九十五錢出來五千叭　（以下不鮮明）